H

FM／AM(ラジオ)

各部の名称とはたらき……H-2
タッチパネル部について……H-2
表示部について……H-4
FM／AM放送を切り替える……H-5
FM／AMを使う……H-6
選局する……H-6
プリセットボタンにメモリーする……H-10
交通情報を受信する……H-12
周波数の設定を変える……H-13

各部の名称とはたらき(1)

タッチパネル部について

(例)FMモード TOP画面

(例) FMモード リスト画面
(**プリセット1** / **プリセット2** ボタン選択時)

(例) FMモード リスト画面
(**エリア** ボタン選択時)

① **リスト** ボタン
現在の車の位置周辺で放送されている放送局をリスト表示します。
☞H-6

② **バンド** ボタン
タッチするたびにAMモード⟷FMモードと切り替わります。☞H-5

③ **交通情報** ボタン
道路交通情報を受信します。
☞H-12

④ **切替** ボタン
時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で **切替** をタッチすると選択中のモード画面に戻ります。
☞G-38

⑤ **プリセット** ボタン(1～6)
1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
☞H-10(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。
☞H-7

⑥ **A.SEL** ボタン
1.5秒以上タッチでオートセレクトを開始します。(表示灯点灯)
☞H-11
※セレクトされた放送局は **プリセット** (1～12)に表示されます。
短タッチでオートセレクト画面とユーザプリセット画面の切り替えとなります。
☞H-8

⑦ **プリセット1** ／ **プリセット2** ボタン*
ユーザープリセット1(プリセット1)／ユーザープリセット2(プリセット2)を表示します。
☞H-7

⑧ **エリア** ボタン*
現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** (1～12)に表示します。
☞H-6

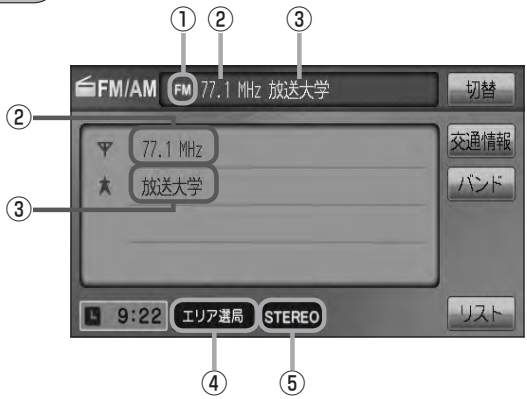
⑨ **エリア表示** ボタン(1～12)
エリア選局画面でエリアが **エリア表示** (1～12)に表示されます。
☞H-6
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

⑩ **エリア更新** ボタン(1～12)
エリア タッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示します。
☞H-7アドバイス内

アドバイス
＊印…オートセレクト画面(**A.SEL** の表示灯点灯)のとき、 **エリア** ／ **プリセット1** ／ **プリセット2** は表示されません。

各部の名称とはたらき(2)

表示部について



①FM／AM表示

選択中のバンド(FM放送／AM放送)を表示します。
☞H-5

②周波数表示

③放送局名表示

※放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

④エリア表示／プリセット表示／オートセレクト表示

※リストから選択したボタン(**エリア** ／ **プリセット1** ／ **プリセット2** ／ **A.SEL**)によって表示は異なります。

エリア選局 ： **エリア** 選択時に表示
プリセット1 ： **プリセット1** 選択時に表示
プリセット2 ： **プリセット2** 選択時に表示
オートセレクト ： **A.SEL** 選択時に表示

⑤ステレオ放送表示

ステレオ放送受信時のみ表示されます。

FM／AM放送を切り替える

1 **バンド** をタッチする。

：タッチするたびにAM放送 ⇔ FM放送と切り替わります。

（例）FMモード（FM放送）TOP画面

FMモード選択時表示

（例）AMモード（AM放送）TOP画面

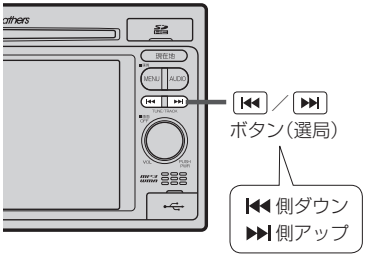
AMモード選択時表示

FM／AMを使う(1)

選局する

手動選局／自動選局／エリア選局／ユーザープリセット選局／オートセレクト選局があります。

1 選局する。



■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① ⏮／⏭(選局)を押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。

■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① ⏮／⏭(選局)を1秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に⏮／⏭(選局)を押すと、自動選局は止まります。

アドバイス
- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると STEREO が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

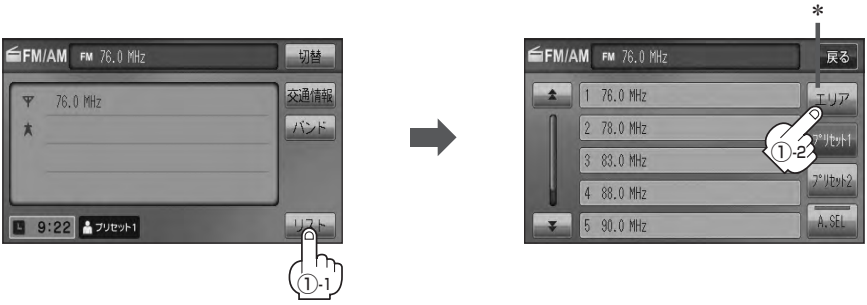
■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① リスト ➡ エリア をタッチする。

：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が エリア表示 (1～12)に表示されます。

＊印… エリア が エリア更新 に切り替わります。 プリセット1 ／ プリセット2 をタッチすると、 エリア に戻ります。



② **エリア表示**(1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

エリア表示 ボタン(1～12)

アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** に表示されるとは限りません。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** をタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- TOP画面は選択するボタン(**エリア** または **プリセット1** ／ **プリセット2** 、 **A.SEL**)によって異なります。☞ H-9アドバイス参照

■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合

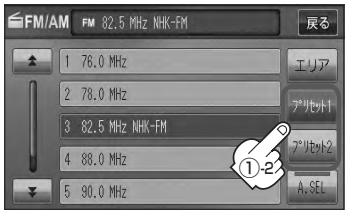
プリセット(1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット**(1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

☞「(プリセットボタンにメモリーする)」H-10

① **リスト** ➡プリセットボタン(**プリセット1** ／ **プリセット2**)をタッチする。

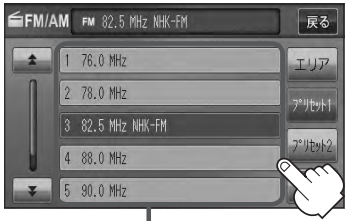
：選択中モード(FM／AM)のプリセット表示となります。



② 呼び出したい **プリセット**(1～6)をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

(例)FMモード リスト画面
ユーザープリセット表示



プリセット ボタン(1～6)

アドバイス

オートセレクト画面を表示している場合は **A.SEL** をタッチして表示灯を消灯し、ユーザープリセット画面に切り替えて手順①を行なってください。

☞「□ **オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すとき** 」H-8

FM／AMを使う(2)

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動でFM／AM各12局までメモリー)した放送局を プリセット (1～12)に表示し、呼び出すことができます。

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

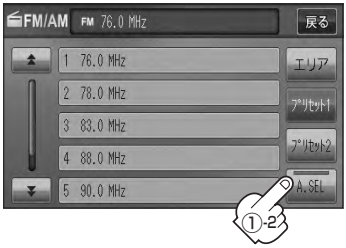
☞「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」H-11

① **リスト** ➡ **A.SEL** をタッチする。

：オートセレクトでメモリーした放送局を **プリセット** に表示します。

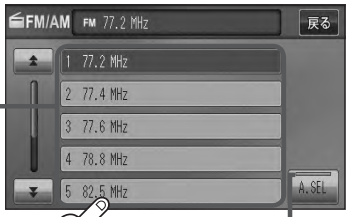
(例)FMモードTOP画面

(例)FMモード リスト画面*
ユーザープリセット表示



② **プリセット** (1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。

：選択したラジオ放送局を受信します。



プリセット ボタン(1～12)
※セレクトできた局の数によってボタンの数も変わります。

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

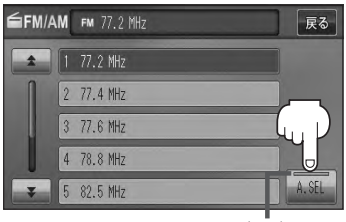
□ オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すとき

1. **A.SEL** をタッチする。

：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア画面に戻ります。

※ **A.SEL** をタッチするたびにオートセレクト⟷エリア画面／ユーザープリセットと切り替わります。

(例)オートセレクト画面



表示灯

アドバイス

＊印…リスト画面は選択するボタン(**エリア** ／ **プリセット1** ／ **プリセット2** ／ **A.SEL**)によって異なります。☞ H-9アドバイス参照

- **A.SEL** を1.5秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。☞ H-11
- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。

アドバイス

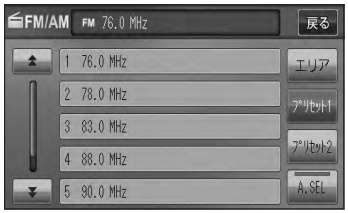
FM／AMモードのリスト画面は選択するボタン(**エリア**／**プリセット1**／**プリセット2**／**A.SEL**)によって異なり、画面が下記のように変わります。

(例)FMモード リスト画面
エリア 選択時
(エリア表示)

プリセット1／**プリセット2** をタッチすると

エリア をタッチすると

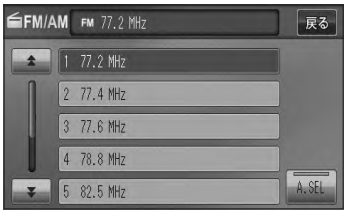
(例)FMモード リスト画面
プリセット1／**プリセット2** 選択時
(ユーザープリセット表示)



A.SEL をタッチして表示灯を点灯すると

A.SEL をタッチして表示灯を点灯すると

(例)FMモード リスト画面
A.SEL 選択時
(オートセレクト表示)



A.SEL をタッチして表示灯を消灯すると

A.SEL をタッチして表示灯を消灯すると

FM／AMを使う(3)

プリセットボタンにメモリーする

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)選局とオートセレクトプリセット(自動メモリー)選局があります。

1 バンドを選ぶ。

☞「FM／AM放送を切り替える」H-5

2 リスト ➡メモリーしたいプリセットボタン(プリセット1 ／ プリセット2)をタッチする。

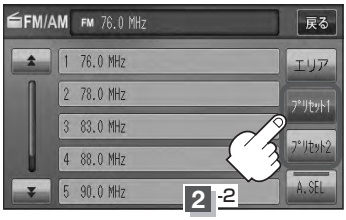
※オートセレクトプリセット(自動メモリー)を行なう場合は、 リスト をタッチ後
☞「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合 」H-11へ進んでください。

：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。

(例)FMモード TOP画面

2-1

(例)FMモード リスト画面



2-2

3 プリセットする方法を選択する。
(ユーザープリセット／オートセレクトプリセット)

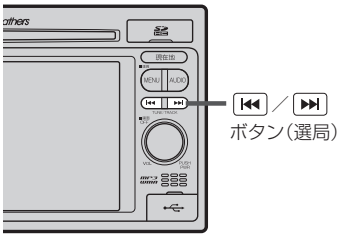
■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、 プリセット (1～6)にメモリーします。

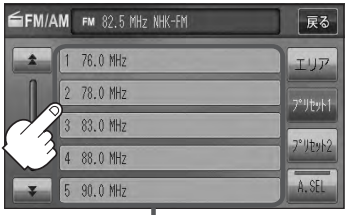
※ プリセット には、FM・AMの各モードでプリセット1／プリセット2画面に6局ずつ、計24局メモリーすることができます。

① ⏮／⏭(選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合 」／
☞「■ 自動選局で放送局を選ぶ場合 」H-6



② **プリセット**(1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。



プリセット ボタン(1～6)

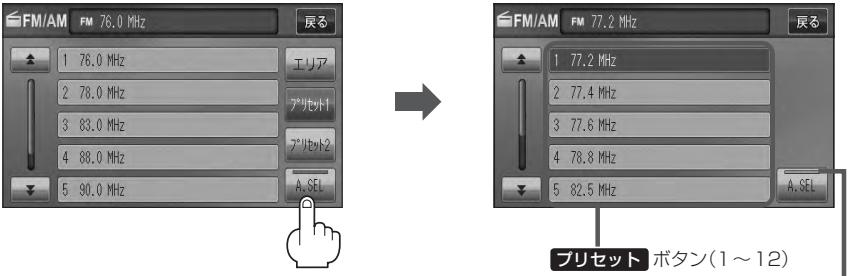
アドバイス
- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、**プリセット1** または **プリセット2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** (1～6)を軽く(1秒未満)タッチします。
「■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合」H-7

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動でFM／AM各12局まで プリセット にメモリーします。

① **A.SEL** を1.5秒以上タッチする。

: **A.SEL** の表示灯が点灯し、受信した放送局を **プリセット** にメモリー(表示)します。



プリセット ボタン(1～12)

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

アドバイス
- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい **プリセット** (1～12)を軽く(1秒未満)タッチします。
「■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」H-8
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、**A.SEL** をタッチし、表示灯を消灯させてください。

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1 交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

※初期状態は1620kHzに設定されています。

(例)FMモード TOP画面

(例)交通情報画面

■ エリア／プリセット1／プリセット2／A.SEL画面を表示している場合

① 戻る ➡ 交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

FMモード リスト画面
（エリア表示）

2 交通情報の受信を止めるには、戻る をタッチする。

：1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

道路交通情報は、AV SOURCE画面からでも表示できます。

「交通情報を受信する」G-39

周波数の設定を変える

交通情報の周波数を変えることができます。

1 **受信したい周波数(1620kHz ／ 1629kHz)をタッチする。**

：選択した周波数で道路交通情報を受信します。

アドバイス 次回、 交通情報 をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

I

ワンセグ

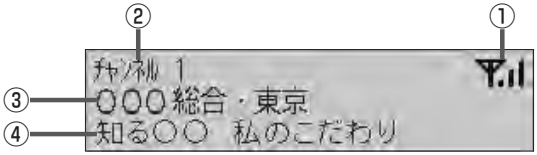
VXM-128VS

各部の名称とはたらき……I-2
バナー表示について……I-2
タッチパネル部について……I-3
ワンセグメニュー画面について……I-4
ワンセグを見る……I-5
ワンセグモードにすると……I-5
番組表を見る……I-6
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする……I-8
エリア変更を 自動 にする……I-10
中継・系列局サーチをする……I-11
スキャンする……I-12
初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをする……I-12
選局する……I-14
手動選局で放送局を選ぶ……I-14
自動選局で放送局を選ぶ……I-14
プリセットで放送局を選ぶ……I-15
リストで放送局を選ぶ……I-16
プリセットボタンにメモリーする……I-19
エリア呼出／プリセット呼出について……I-20
チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する……I-21
設定をする……I-23
時計表示設定／中継・系列局サーチ設定……I-23
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する……I-25
アンテナ電源の設定をする……I-27
設定を初期化する……I-28
音声と字幕の設定をする……I-29

各部の名称とはたらき(1)

バナー表示について

地上デジタル放送(ワンセグ)を選局したときや受信中に画面をタッチすると、画面に下のような表示が現われます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が表示されます。



①電波状態表示

：本数が多いほど受信状態は良好です。

②チャンネル番号

③放送局名

※マルチサービスを受信しているときは、放送局名の後ろにサービス番組が表示されます。

④番組名および記号

番組の名称を最大15文字まで表示します。
また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。
(例)

- デ 番組連動データ放送
- 字 字幕放送
- SS サラウンドステレオ音声
- 多 音声多重放送
- 再 再放送
- S ステレオ放送
- 解 音声解説
- 吹 吹き替え
- W ワイド放送
- MV マルチビューテレビ放送　…など

※記号は放送局側で付けられています。
※上記以外の記号もあります。

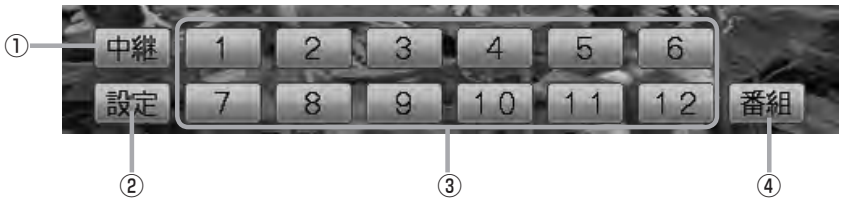
タッチパネル部について

画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が約5秒間表示されます。(下記)
※操作ボタンの表示を止めるには、もう一度画面をタッチするか表示が消えるまで待ちます。

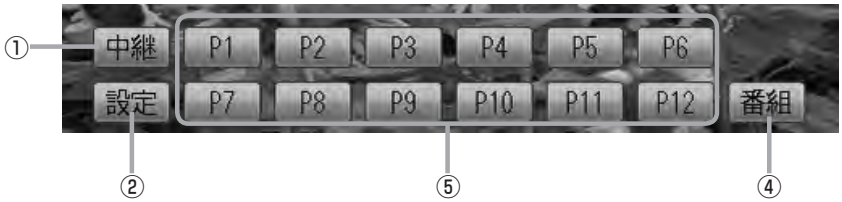
アドバイス 操作ボタンは、ワンセグメニュー画面で選択するボタン(エリア呼出 / プリセット呼出)によって表示内容(機能)が異なります。
「ワンセグメニュー画面について」I-4

操作ボタン

■ エリア呼出 を選択した場合



■ プリセット呼出 を選択した場合



① 中継 ボタン
中継・系列局をサーチします。
I-11

② 設定 ボタン
ワンセグメニュー画面を表示します。
I-4

③ 1 ～ 12 ボタン(エリア)
あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。
I-15

④ 番組 ボタン
番組表を表示します。
I-6アドバイス内

⑤ P1 ～ P12 ボタン(プリセット)
1秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。
I-19
メモリーしたボタンは P1 ～ P12 の表示から物理チャンネル(13ch ～ 62ch)表示となります。
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(約1秒未満)タッチします。
I-15

各部の名称とはたらき(2)

ワンセグメニュー画面について

画面をタッチして操作ボタンを表示させているとき、**設定**をタッチするとワンセグメニュー画面を表示させることができます。ワンセグの各機能や設定はこのワンセグメニューを使って行ないます。

① **エリア変更** ボタン
視聴エリアを変更します。
☞I-8

② **チャンネルリスト** ボタン
チャンネルリストを表示します。
☞I-16、I-21

③ **スキャン** ボタン
初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをすることができます。
☞I-12

④ **番組表** ボタン
番組表を表示します。
☞I-6

⑤ **システム設定** ボタン
各種設定(時計表示設定、中継・系列局サーチ)、受信レベル確認、アンテナ電源、システム情報の確認をすることができます。
時計表示設定 ☞I-23
中継・系列局サーチ設定 ☞I-23
受信レベル確認 ☞I-25
アンテナ電源設定 ☞I-27
システム設定 ☞I-28

⑥ **エリア呼出** ボタン
操作ボタン を表示します。
☞I-3
表示された **1** ～ **12** (エリア)をタッチしてプリセット(メモリー)されている放送局を呼び出すことができます。なお、プリセットされている放送局は、視聴エリアの変更やスキャンなどによって変更されます。
☞I-20

⑦ **プリセット呼出** ボタン
操作ボタン を表示します。
☞I-3
表示された **P1** ～ **P12** (プリセット)をタッチして手動でプリセット(メモリー)した放送局を呼び出すことができます。(☞I-19)

⑧ **音声字幕** ボタン
音声設定、字幕設定をすることができます。
(☞I-29)

⑨ **戻る** ボタン
1つ前の画面に戻ります。

⑩ **操作状態を表示**

ワンセグを見る

VXM-128VS

⚠ 映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
（走行中は音声のみになります。）

ワンセグモードにすると

GPSから得たお車の位置に自動でワンセグの視聴エリアの変更を行ない、また中継・系列局サーチ機能により放送が受信できるまでサーチ（探索）を行ないます。

中継・系列局サーチの設定で“自動”を選択している場合
☞ I-23参照（初期は自動に設定）

※受信できない場合や、視聴エリアを手動で変更する場合は、
視聴エリアの変更を行なって地方と県域を設定してください。
☞「視聴エリアの変更（地方／県域の設定）をする」I-8

番組表を見る

VXM-128VS

受信中のチャンネルの電子番組表(EPG)を表示し、現在放送中の番組や今後放送される番組を確認したり、番組の詳細情報を見ることができます。

1 画面をタッチし 設定 をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

アドバイス

画面をタッチし 番組 をタッチして、ワンセグメニュー画面を表示させる方法もあります。

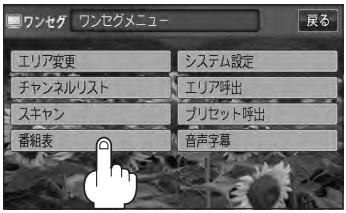
(例)操作ボタン表示画面

番組 ボタン

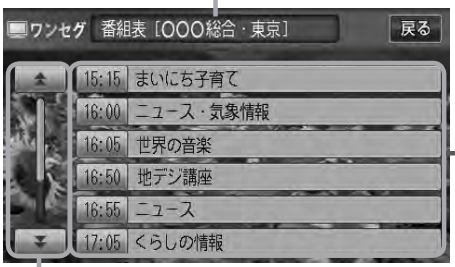
2 番組表 をタッチする。

：番組表が表示されます。

ワンセグメニュー画面



(例)番組表



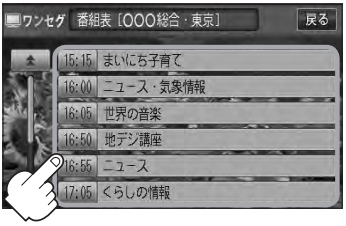
さらに番組の詳細情報を見ることができます。

■ 番組表から詳細内容を見る場合

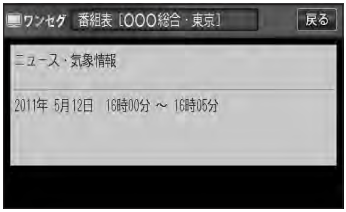
① 番組表(リスト)の中から詳細内容を確認したい番組をタッチする。

：番組詳細画面が表示され、内容が確認できます。

(例)番組表



(例)番組詳細画面



3 番組表を見たら、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 番組表(または番組の詳細内容)を表示するまでに時間がかかる場合があります。
- 番組表を表示中に番組表の更新があった場合は、表示内容が更新されます。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルは、正しく表示できない場合があります。
- 他の放送局の番組表を表示したい場合は、受信画面で表示したい放送局を選局しなおす必要があります。

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする(1)

VXM-128VS

初期設定のエリア変更は「自動」動作が設定されています。
エリア変更を「手動」動作を選択する場合は下記に従って操作してください。

アドバイス

お車の走行地域が変わっても、本機は自動で視聴エリアの変更を行ないます。GPSで現在位置が受信できない場合や、手動で地域と県域を設定する場合は下記に従って操作してください。
現在地によって受信できる放送局(1 ～ 12 (エリア)に割り当てられる放送局)が異なります。

1 画面をタッチし 設定 をタッチする。

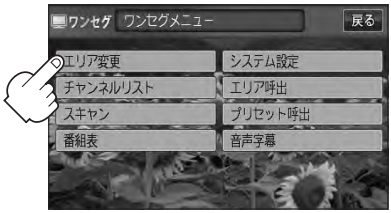
：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

2 エリア変更 をタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 エリア変更 手動 をタッチする。

：視聴エリア(地方)が選択可能となります。

※すでに“手動”に設定されている場合は、
手順 4 (☞ I-9)へ進んでください。

4 現在地の地方と県域をタッチする。

：初期スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

視聴エリア変更画面(地方選択時)

4-1

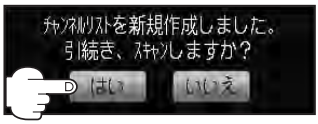
視聴エリア変更画面(県域選択時)

4-2

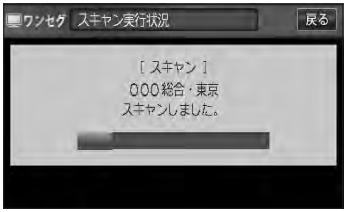
選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて 1 ～ 12 (エリア)にプリセット(メモリー)されます。
※選択している地域で放送されている放送局をすべてプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

■ スキャンを行なう場合

① **はい** をタッチする。



：初期スキャンを開始します。



※スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンを行なわない場合

① **いいえ** をタッチする。

：初期スキャンをしないで受信画面を表示します。

アドバイス

- 視聴エリア変更後は **はい** をタッチしてスキャンすることをおすすめします。
- 初期スキャンは、チャンネルリストに追加された局の中継局を探索する機能で、チャンネルリストに新しく放送局を追加する機能ではありません。従って現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときには、
「■ 再スキャンをする場合 」I-13を行なってください。

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする(2)

エリア変更を 自動 にする

1 I-8の手順 **1** 、 **2** に従って操作し、
エリア変更の **自動** をタッチする。

：視聴エリア変更(地方)が選択できなくなります。

アドバイス エリア変更を **自動** に設定した場合、視聴エリア(現在地)が変わると自動でその地域のチャンネルリストを作成します。その際には、ワンセグ画面にてメッセージが一定時間表示されます。

中継・系列局サーチをする

VXM-128VS

中継・系列局サーチとは、走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、受信していた放送局の中継局またはその系列局が受信可能になるまで選局し続ける機能です。
もとの放送局に中継局がある場合、その中継局の選局をしたり、エリア内に同じ系列に属する放送局があった場合、これを選局したりしてサーチ動作を続けます。
「中継局」とは、放送局が周波数を変えて(あるいは同じ周波数で)、サービス地域の受信を補償するため、同じ放送内容を再送信する施設のことです。これに対して「系列局」とは、いわゆる同じ「ネットワーク系列」に属する別の放送局です。従って放送内容が必ずしも同じであるとは限りません。
「ネットワーク系列」として、次のものを定義しています。
NHK総合系列、NHK教育系列、TBS系列、NTV(日本テレビ)系列、CX(フジ)系列、テレビ朝日系列、テレビ東京系列、独立UHF局系列(2011年3月現在)

※中継・系列局サーチの自動／手動の設定につきましては、
「時計表示設定／中継・系列局サーチ設定」I-23をご覧ください。

1 自動／手動で中継・系列局をサーチする。

■ 中継・系列局サーチを自動でする場合

：受信できなくなると、自動で中継・系列局をサーチします。

■ 中継・系列局サーチを手動でする場合

① 画面をタッチし、 中継 をタッチする。

：受信状態にかかわらず直ちに中継・系列局をサーチします。

(例)中継・系列局サーチ中画面

アドバイス サーチ中に ⏮ ／ ⏭ (選局)を押す、または 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)をタッチするとサーチは止まり、要求された選局をします。

スキャンする

初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをする

1 **画面をタッチし、 設定 をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

（例）操作ボタン表示画面

2 **スキャン をタッチする。**

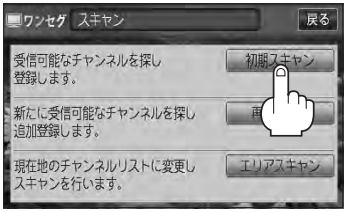
：スキャン画面が表示されます。

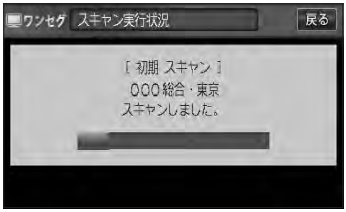
ワンセグメニュー画面

3 **初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンを選択する。**

■ 初期スキャンをする場合

① **初期スキャン をタッチする。**





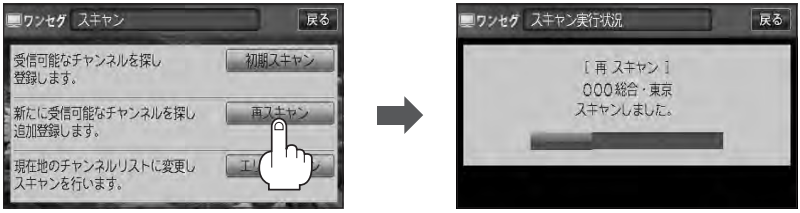
：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット（メモリー）します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

アドバイス 初期スキャンを行なうと視聴エリア（チャンネルリスト、 1 ～ 12 （エリア）にメモリーされるエリア）が最新の状態となります。

■ 再スキャンをする場合

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときに行ないます。

① **再スキャン** をタッチする。

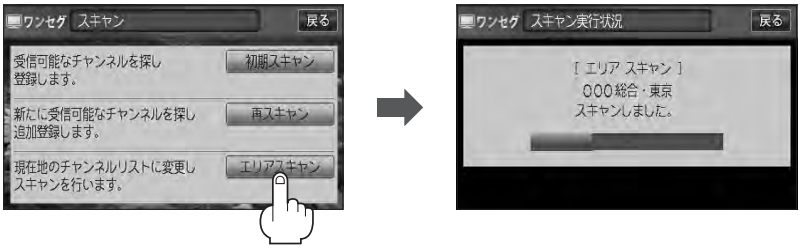


：新たに受信可能なチャンネルを探し、追加でプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

■ エリアスキャンをする場合

現在の車の位置を視聴エリアとするチャンネルリストに変更します。変更した放送局の中継局をスキャンします。

① **エリアスキャン** をタッチする。



：現在の車の位置において準備されているチャンネルリスト／ **1** ～ **12** (エリア)を変更し、変更した放送局の中継局をスキャンし、チャンネルリスト／ **1** ～ **12** (エリア)にプリセット(メモリー)します。

※視聴エリアの変更で自動に設定されている場合は、エリアスキャンをしなくてもチャンネルリスト／ **1** ～ **12** (エリア)は変更されます。(中継局のスキャンは開始されません。)

アドバイス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など **1** ～ **12** (エリア)にプリセット登録されない番組もあります。
- エリア変更を“自動”にしている場合、現在地エリアが変わると、エリアスキャンを実行しなくてもチャンネルリストが変わります。ただし、その場合初期スキャンは実行されません。

選局する(1)

VXM-128VS

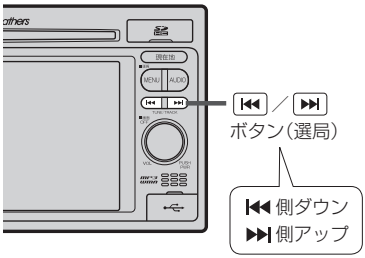
チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局)

手動選局で放送局を選ぶ

1 **⏮／⏭(選局)を押す。**

：ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。

アドバイス 地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局が登録される場合があります。その場合、タッチするたびに放送局が登録されている順に変わります。



自動選局で放送局を選ぶ

1 **⏮／⏭(選局)を長押しする。**

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に⏮／⏭(選局)を押すと、自動選局は止まり、チャンネルリストの中でチャンネル番号の一番若い放送局を選局します。

アドバイス
- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。この場合全チャンネルを一通り選局後、自動選局は止まります。

プリセットで放送局を選ぶ

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって 1 ～ 12 (エリア)にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、お好きな放送局をお客様ご自身が P1 ～ P12 (プリセット)にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

※あらかじめ 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)に放送局をメモリーしておく必要があります。

☞「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」I-8
☞「スキャンする」I-12
☞「プリセットボタンにメモリーする」I-19

1 画面をタッチし、1 ～ 12 (エリア)または P1 ～ P12 (プリセット)の中で呼び出したい数字をタッチする。

：選択したボタンにメモリーされている放送局を受信します。

(例) 1 ～ 12 (エリア)に設定している場合

(例) P1 ～ P12 (プリセット)に設定している場合

操作ボタン

アドバイス

＊1印…放送局が割り当てられていないボタンは選択できません。

＊2印… P1 ～ P12 は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示(13ch ～ 62ch)となります。

- 1 ～ 12 (エリア)に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その 1 ～ 12 (エリア)をタッチするごとに設定されたチャンネルを順に選局します。
- 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面／プリセットリスト画面(☞I-16)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは「チャンネル一覧」(☞P-48)より確認できます。

選局する(2)

VXM-128VS

リストで放送局を選ぶ

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧

プリセットリスト…お客様ご自身がお好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

☞「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」I-8
☞「スキャンする」I-12
☞「プリセットボタンにメモリーする」I-19

1 **画面をタッチし、 設定 をタッチする。**

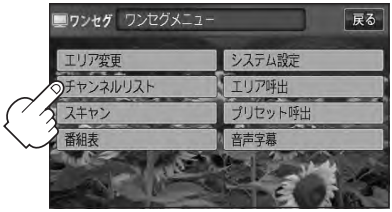
：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

2 **チャンネルリスト をタッチする。**

：チャンネルリスト画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



3 **チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出します。**

■ チャンネルリストより放送局を呼び出す場合

① **チャンネルリスト をタッチする。**

：チャンネルリスト画面が表示されます。

※すでにチャンネルリスト画面が表示されている場合は手順②(☞ I-17)へ進んでください。

(例)プリセットリスト画面

② リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

（例）チャンネルリスト画面

エリア番号　放送局名

現在の設定内容（エリア番号と放送局名の組み合わせ）を確認できます。

アドバイス

- チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは「チャンネル一覧」（☞ P-48）より確認できます。
- 視聴エリアの変更で“自動”に設定している場合、チャンネルリストまたは 1 ～ 12（エリア）は自動で変更されます。
  ※エリア変更の自動または手動の確認は☞「視聴エリアの変更（地方／県域の設定）をする」I-8の手順 1 、 2 に従って操作してください。

■ プリセットリストより放送局を呼び出す場合

① プリセットリスト をタッチする。

：プリセットリスト画面が表示されます。

※すでにプリセットリスト画面が表示されている場合は下記手順②へ進んでください。

（例）チャンネルリスト画面

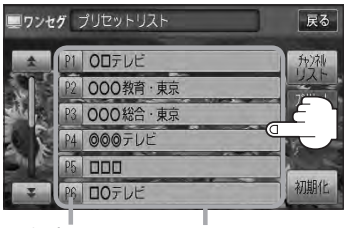
② リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。

アドバイス

手順①のとき チャンネルリスト をタッチするとチャンネルリスト画面に戻ります。

（例）プリセットリスト画面



プリセット番号　放送局名と物理チャンネル番号

現在の設定内容（プリセット番号と放送局名の組み合わせ）を確認できます。

選局する(3)

アドバイス

- チャンネルリストは操作ボタンの 1 ～ 12 (エリア)にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
  ※地域によっては同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。

(例)チャンネルリスト画面

エリア番号　放送局名

操作ボタン

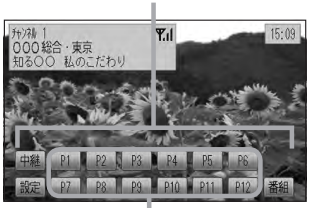
(例) 1 ～ 12 ボタン(エリア)

- プリセットリストは操作ボタンの P1 ～ P12 (プリセット)にメモリーされているプリセット番号と放送局名／物理チャンネル*を表示します。
  *印…物理チャンネル
  ☞ I-25

(例)プリセットリスト画面

プリセット番号　放送局名／チャンネル番号
(チャンネル番号：13ch～62ch)
※メモリーされていない場合、リストに表示されません。

操作ボタン



(例) P1 ～ P12 ボタン
(プリセット)

プリセットボタンにメモリーする(1)

VXM-128VS

プリセット選局(☞I-15)やリスト選局(☞I-16)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

1 ⏮／⏭(選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「手動選局で放送局を選ぶ／自動選局で放送局を選ぶ」I-14

2 画面をタッチし、設定をタッチする。

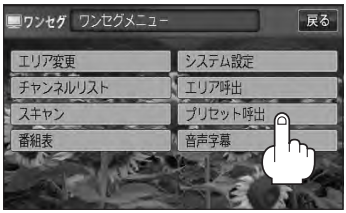
：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

3 プリセット呼出をタッチする。

：操作ボタンを表示します。

ワンセグメニュー画面



4 メモリーしたいP1～P12(プリセット)を1秒以上タッチする。

：選択したボタンに放送局がメモリーされます。

※表示はP1～P12から13ch～62ch(物理チャンネル)表示へ変わります。

※選局中や放送局を受信できない状態では、放送局をメモリーすることはできません。

操作ボタン

P1～P12ボタン(プリセット)

P1に31チャンネルをプリセット(メモリー)した場合、P1→31ch表示へと変わります。

アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには P1～P12(プリセット)を軽く(1秒未満)タッチします。☞I-15
- すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- 画面をタッチしたときにP1～P12(プリセット)が表示された場合は、上記手順2、3を省略することができます。

プリセットボタンにメモリーする(2)

VXM-128VS

エリア呼出／プリセット呼出について

画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

ワンセグメニュー画面

初期状態は **エリア呼出** が設定されています。

エリア呼出 設定中に

画面をタッチすると

1 ～ **12**（エリア）が表示される

ワンセグメニュー画面

手順 **3**（☞I-19）で **プリセット呼出** が選択されている場合

プリセット呼出 設定中に

画面をタッチすると

P1 ～ **P12**（プリセット）が表示される

※ **1** ～ **12**（エリア）には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。
P1 ～ **P12**（プリセット）には、お客様ご自身がお好きな放送局をメモリーします。メモリーしたボタンは13ch～62ch(物理チャンネル*)表示に変わります。たとえば **P1** に31チャンネルをプリセットすると **P1** は **31ch** 表示になります。
＊印…物理チャンネル ☞I-25

※操作ボタンの表示は最終選択時の状態を保持するため、前回 **エリア呼出** または **プリセット呼出** のどちらを選択したかによって表示が異なります。

チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する(1)

VXM-128VS

1 **画面をタッチし、 設定 をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

2 **チャンネルリスト をタッチする。**

：チャンネルリスト画面が表示されます。

※チャンネルリストの確認だけの場合は、確認終了後 戻る をタッチしてください。

ワンセグメニュー画面

3 **チャンネルリストまたはプリセットリストを初期化する。**

■ チャンネルリストを初期化する場合

① **チャンネルリスト をタッチする。**

：チャンネルリスト画面が表示されます。

※すでにチャンネルリスト画面が表示されている場合は下記手順②へ進んでください。

(例)プリセットリスト画面

② **初期化 をタッチする。**

：チャンネルリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとチャンネルリストが初期化されます。

(例)チャンネルリスト画面

チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する(2)

VXM-128VS

■ プリセットリストを初期化する場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

：プリセットリスト画面が表示されます。

(例)チャンネルリスト画面

② **初期化** をタッチする。

：プリセットリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、プリセットリストが初期化されます。

(例)プリセットリスト画面

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

設定をする(1)

時計表示設定／中継・系列局サーチ設定

ワンセグ受信中に時計を表示させるかどうかの設定をすることができます。また、お車の走行地域が変わって、放送局が受信できなくなった場合、“自動で中継・系列局サーチを起動”するかどうかの設定をすることができます。

☞「中継・系列局サーチをする」I-11をご覧ください。

1 **画面をタッチし、 設定 をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

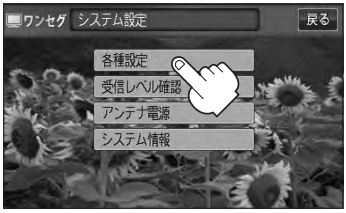
(例)操作ボタン表示画面

2 **システム設定 をタッチする。**

：システム設定画面が表示されます。

3 **各種設定 をタッチする。**

：各種設定画面が表示されます。



4 時計表示をする／しない、中継・系列局サーチの自動／手動の設定をする。

■ 時計を表示する／しないを選択する場合

□ 時計を表示させるとき

1. **する** をタッチする。

：受信画面で常に表示されます。

□ 時計を表示させないとき

1. **しない** をタッチする。

：時計を表示しません。

■ 中継・系列局サーチを設定する場合

□ 自動でサーチするとき

1. **自動** をタッチする。

：受信できない状態が一定時間以上続くと、自動で中継局と系列局を探します。

※受信していた放送局に受信可能な中継局、または現在地の視聴エリアに同じ系列に属する系列局がある場合、受信可能となるまでサーチし続けます。

□ 手動でサーチするとき

1. **手動** をタッチする。

：放送局が受信できなくなった場合、“受信できません“とメッセージが表示されます。

※手動で中継・系列局サーチをするには **中継** をタッチします。

「中継・系列局サーチをする」I-11

5 設定を終えるには **戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

チャンネルを入力して受信可能な放送局かどうかを確認することができます。また、受信状態を確認することもできます。

1 **画面をタッチし、 設定 をタッチする。**

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

（例）操作ボタン表示画面

2 **システム設定 をタッチする。**

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面

3 **受信レベル確認 をタッチする。**

：受信レベル確認画面が表示されます。

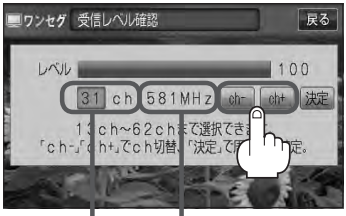
システム設定画面

4 **ch－ ／ ch＋ をタッチする。**

：タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。
13～62chの中から確認したいチャンネルを選択してください。

※チャンネルを変更するとチャンネルにあった周波数が表示されます。

（例）受信レベル確認画面



周波数表示

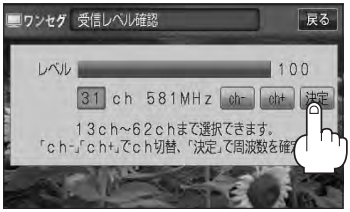
チャンネル表示
（物理チャンネル13ch～62ch）

設定をする(3)

VXM-128VS

5 決定 をタッチする。

：チャンネル(周波数)を確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネル(周波数)の放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。(放送局が存在しない場合は受信できなくなります。)

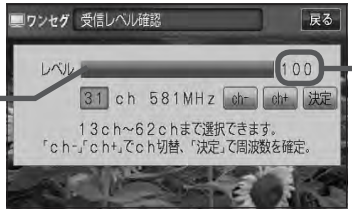


6 設定を終えるには 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さと数値にて)確認することができます。
- 受信レベルが高くても視聴できるとは限りません。

(例) 受信レベル確認画面



バー表示

MAXを100とし、100に近い程受信状態は安定しています。

アンテナ電源の設定をする

アンテナ電源設定をすることができますが、通常は 電源 入 に設定してください。
電源 切 に設定すると正常に受信できません。

1 画面をタッチし、 設定 をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

2 システム設定 をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面

3 アンテナ電源 をタッチする。

：アンテナ電源画面が表示されます。

システム設定画面

4 電源 入 をタッチする。

アドバイス

アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合やアンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に 電源 切 に設定されます。
※ 電源 入 に設定できない場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。

(例)アンテナ電源画面

5 設定を終えるには 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

設定をする(4)

VXM-128VS

設定を初期化する

ワンセグメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

1 画面をタッチし、**設定**をタッチする。

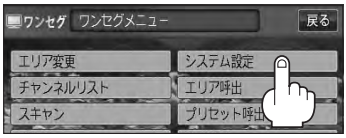
：ワンセグメニュー画面が表示されます。

(例)操作ボタン表示画面

2 **システム設定**をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面



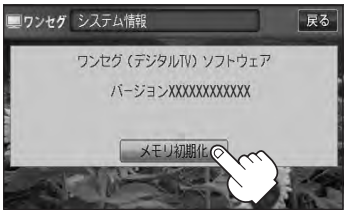
3 **システム情報**をタッチする。

：システム情報画面が表示され現在のバージョン情報が表示されます。

システム設定画面

4 **メモリ初期化**をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので**はい**をタッチしていくと設定内容を初期化します。



5 初期化を終えたら、初期化完了のメッセージが表示されるので**OK**をタッチする。

6 設定を終えるには**戻る**をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化**を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。

お願い

- **初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。**
  故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去され、二度と復帰しません。

音声と字幕の設定をする

数種類の音声が同時に放送されている番組では、本機で音声を切り替えることができます。また映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

1 画面をタッチし、**設定**をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

2 **音声字幕**をタッチする。

：音声／字幕設定画面が表示されます。

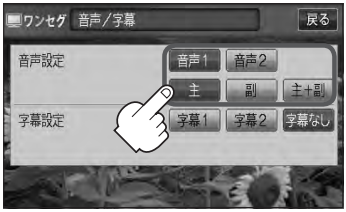
3 音声または字幕の設定をする。

■ 音声の設定をする場合

① **音声1**／**音声2**および**主**／**副**／**主+副**をタッチする。

：タッチした時点でその設定(選択した音声)が確定(決定)されます。

※複数音声放送と二重音声放送の場合に有効となります。

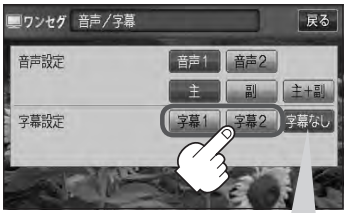


■ 字幕の設定をする場合

① **字幕1**／**字幕2**をタッチする。

：タッチした時点で選択した字幕が確定(決定)されます。

※字幕がある番組の場合に有効となります。



字幕の表示を止めるときは**字幕なし**をタッチしてください。

4 設定を終えるには**戻る**をタッチして表示させたい画面まで戻る。

J

CD／MP3／WMA（CD／CD-R／CD-RW）

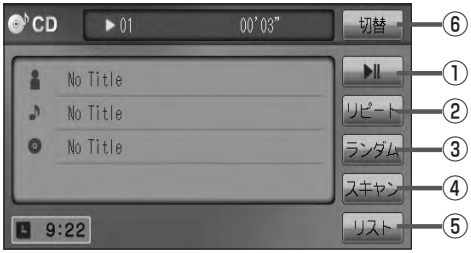
CD

各部の名称とはたらき……J-2
タッチパネル部について……J-2
表示部（再生画面）について……J-3
CD／MP3／WMAプレーヤーを使う……J-4
再生を一時停止する……J-4
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる……J-4
好きなフォルダを選ぶ……J-5

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

(例)CDモード TOP画面



(例)MP3モード TOP画面

① **▶II ボタン(再生／一時停止)**
再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
J-4

② **リピート ボタン**
現在再生中の曲を繰り返し再生します。
G-30

③ **ランダム ボタン**
曲を順序不同で再生します。
G-30

④ **スキャン ボタン**
曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
G-30

⑤ **リスト ボタン**
リストを表示させて選曲することができます。
J-4

⑥ **切替 ボタン**
時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で **切替** をタッチすると、選択中のモード画面に戻ります。
G-38

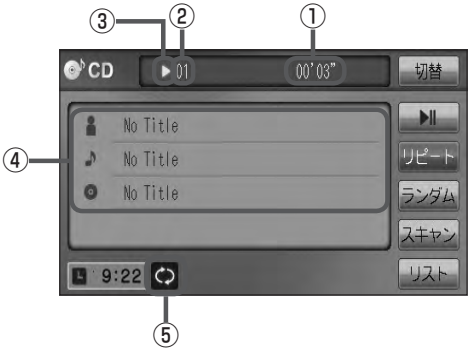
⑦ **フォルダー ボタン**
前のフォルダに戻ります。
J-5

⑧ **フォルダ+ ボタン**
次のフォルダに進みます。
J-5

アドバイス
- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3／WMAのデータが混在する場合は、MP3／WMAデータは再生できません。
- パネル部に配置されているボタンにつきましてはG-20を参照してください。

表示部(再生画面)について

(例)CDモード TOP画面
(リピート再生時)



(例)MP3モード TOP画面
(リピート再生時)

①再生時間表示

②トラック番号＊1

③再生状態表示

▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し
⏸：一時停止

④タイトル名表示

アーティスト名／トラック名／アルバム名＊1
アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名＊2

⑤リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

※表示内容につきましては☞ G-30をご覧ください。

⑥再生ファイル表示

※WMAモードの場合は WMA となります。

アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。
  (本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。＊2
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
  ※走行中はスクロールしません。
- DISCにCD-TEXT情報があれば、アーティスト名／トラック名／アルバム名が表示されます。
  DISCにCD-TEXT情報がなければ、アーティスト名／トラック名／アルバム名は全て“No Title“と表示されます。(市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。)
- アーティスト名／トラック名／アルバム名が記録されていないDISCの場合は、“No Title”と表示されます。＊2
- アーティスト名／トラック名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

＊1印…CDモードの場合
＊2印…MP3／WMAモードの場合

CD／MP3／WMAプレーヤーを使う

再生を一時停止する

1 **▶II（再生／一時停止）をタッチする。**

：画面にIIを表示し、音声が一時的に止まります。

（例）MP3モード TOP画面

一時停止状態

（例）一時停止状態画面

■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に▶II（再生／一時停止）をタッチする。

：画面に▶を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 **リスト をタッチする。**

：トラックリストが表示されます。

※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル（曲）がトラックリストに表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は、手順 **1** を省略することができます。

（例）MP3モード TOP画面

2 **再生したいトラックをタッチする。**

：選択したトラックが再生されます。

（例）MP3モード トラックリスト画面

アドバイス

● ⏮／⏭を押してトラックを選択することもできます。
G-28

CDモード時のトラックリストについて

● DiscにCD-TEXT情報があれば、トラックリストにトラック名が表示されます。
● DiscにCD-TEXT情報がなければ、トラックリストにTRACK 1、TRACK 2、TRACK 3…と表示されます。

MP3／WMAモード時のトラックリストについて

● トラックリストにはトラック名が表示されます。

3 TOP画面に戻るには、**戻る**をタッチする。

好きなフォルダを選ぶ

※MP3／WMAモードの場合

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 **フォルダー**／**フォルダ＋**をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① **フォルダー**をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

① **フォルダ＋**をタッチする。

(例)MP3モード TOP画面

K
DVD

VXM-128VS

映像
DVD

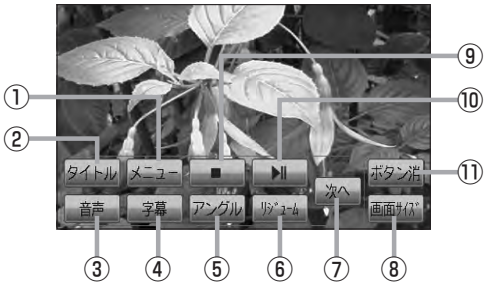
各部の名称とはたらき……K-2
タッチパネル部について……K-2
DVDプレーヤーを使う……K-4
再生を停止する……K-5
再生を一時停止(静止)する……K-6
画面のサイズを変更する……K-6
再生中にチャプターを戻す／進める……K-7
コマ戻し／コマ送りをする……K-8
スロー戻し／スロー送りをする……K-9
DVDメニューを使う……K-10
タイトルメニューを使う……K-12
好きな所から再生する(サーチ選択)……K-14
音声言語／字幕言語を切り替える……K-16
時間の表示を替える……K-17
リピート(繰り返し)再生する……K-18
アングル(角度)を切り替える……K-19
VRモードディスク内の映像をリストより
選択し再生させる……K-20
DVDの初期設定について……K-22
初期設定を変更する……K-22

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

※パネル部に配置されているボタンにつきましては
G-20を参照してください。

操作ボタン1表示画面



(例)停止画面

① **メニュー** ボタン
DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。K-10
※VRモードディスク再生中にタッチすると、プレイリストが表示されます。K-20

② **タイトル** ボタン
DVDビデオ再生中にタッチすると、タイトルメニュー画面になります。K-12
※VRモードディスク再生中にタッチすると、タイトルリストが表示されます。K-20

③ **音声** ボタン
DVDビデオ再生中にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。K-16
※VRモードディスク再生中にタッチすると音声chが切り替わります。

④ **字幕** ボタン
DVDビデオ再生中にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。K-16

⑤ **アングル** ボタン
DVDビデオ再生中にタッチするごとに、アングルが切り替わります。K-19

⑥ **リジューム** ボタン
DVDビデオ再生中にメニュー画面を表示させた後、このボタンをタッチすると、メニュー画面を表示させる前のところより再生(リジューム再生)を行ないます。K-11、K-13

⑦ **次へ** ボタン
操作ボタン2の画面を表示します。

⑧ **画面サイズ** ボタン
画面サイズ(ノーマル／フル／ワイド／シネマ)を選択することができます。
K-6

⑨ **■** ボタン(停止)
再生中にタッチすると、再生をやめ、停止画面を表示します。K-5

⑩ **▶II** ボタン(再生／一時停止)
再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。
K-6

⑪ **ボタン消** ボタン
画面に表示される操作ボタンを消します。
※ボタン消をタッチしなくても約13秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

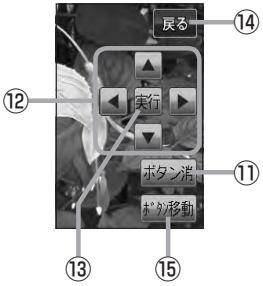
⑫ **DVD設定** ボタン
DVD設定画面を表示します。K-22

⑬ **続き再生解除** ボタン
続きメモリー機能を解除します。K-5

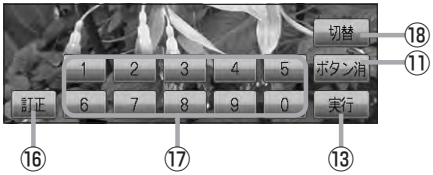
⑭ **▶II** ボタン(再生)
再生を始めるときに使用します。K-5

操作ボタン2表示画面

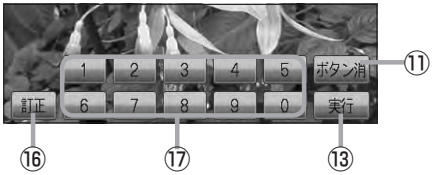
カーソル表示画面



サーチ選択画面



10キー入力画面



① **リピート** ボタン
タッチするごとにリピートモードが切り替わります。
K-18

② **タイム** ボタン
再生の時間を表示します。K-17

③ **サーチ** ボタン
チャプター、タイトル、タイムのサーチ選択画面を表示します。K-14

④ **エンター** ボタン
画面で選んだ項目を実行します。

⑤ **リターン** ボタン
DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
※ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

⑥ **DVD設定** ボタン
DVD設定画面を表示します。K-22

⑦ **前へ** ボタン
操作ボタン1の画面を表示します。

⑧ **画面サイズ** ボタン
画面サイズ(ノーマル／フル／ワイド／シネマ)を選択することができます。
K-6

⑨ **カーソル** ボタン
カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。(カーソル表示画面)

⑩ **10キー** ボタン
10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに使用します。

⑪ **ボタン消** ボタン
画面に表示される操作ボタンを消します。
※ボタン消をタッチしなくても約13秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ **▲** ／ **▼** ／ **◀** ／ **▶** ボタン(カーソルキー)
項目を上下左右選択します。

⑬ **実行** ボタン
画面で選んだ項目を実行(決定)します。

⑭ **戻る** ボタン
操作ボタン2表示画面を表示します。

⑮ **ボタン移動** ボタン
カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

⑯ **訂正** ボタン
10キーボタンで入力した数字を訂正するときに使用します。

⑰ **0** ～ **9** ボタン(10キー)
数字を入力するときに使用します。

⑱ **切替** ボタン
サーチモードを切り替えます。

DVDプレーヤーを使う(1)

VXM-128VS

⚠ 映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
(走行中は音声のみになります。)

画面にDVDメニューまたはタイトルメニューが表示されたとき

DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は、下記の2つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチする。

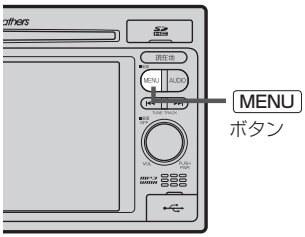
※ディスクによっては操作できない場合があります。

※操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。 **ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。

■ カーソルを表示させ項目を選択する。

① **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



② **次へ** ➡ **カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面

操作ボタン2表示画面

③ ▲▼◀▶(カーソルキー)をタッチして項目を選択し、**実行** をタッチする。

「DVDメニューを使う」K-10の手順 **4** を参考にしてください。

：選択した項目が再生されます。

※操作ボタンの表示を止めるには **ボタン消** をタッチしてください。

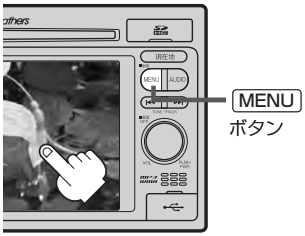
※ディスクによっては操作できない場合があります。

※その他の操作につきましてはそれぞれのページを参照してください。

再生を停止する

1 画面をタッチするか、MENUを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 ■(停止)をタッチする。

：再生を止め、停止画面が表示されます。
（続きメモリー機能が働きます。）

続きメモリー機能

- 再生中に ■(停止)をタッチすると、本機は再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に“▶II ボタンで続きから再生します”と表示し、映像／音声を止めます。 ▶II(再生)をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、 続き再生解除 をタッチするかディスクイジェクト(取り出す)操作で解除されます。ただし、同じディスクを再挿入すると続きメモリー機能が働きます。
  ※ DVD設定 をタッチした場合も続きメモリーは解除されます。K-22

3 再び再生を始めるには、▶II(再生)をタッチする。

：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。
続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。

停止画面

アドバイス ディスクの最初から再生したい場合は手順 3 (停止画面)のとき 続き再生解除 をタッチし、 ▶II(再生)をタッチします。

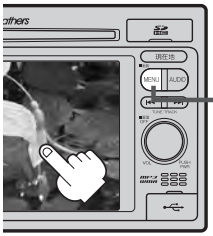
DVDプレーヤーを使う(2)

VXM-128VS

再生を一時停止(静止)する

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **▶II (再生／一時停止)をタッチする。**

：画面に“ II ”を表示し、映像を一時停止します。
（音声も止まります。）

操作ボタン1表示画面

一時停止アイコン

3 **再び再生を始めるには、**
▶II (再生／一時停止)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生します。

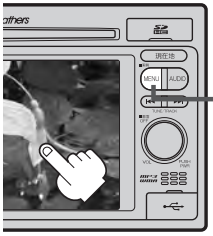
4 **画面の操作ボタンの表示を消すには、 ボタン消 をタッチする。**

画面のサイズを変更する

再生中の画面のサイズ(ノーマル／フル／ワイド／シネマ)を選択することができます。

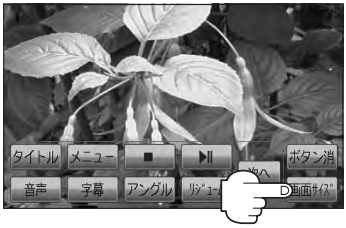
1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **画面サイズ** をタッチする。

：画面サイズ選択画面が表示されます。



3 変更したい画面（**ノーマル** ／ **フル** ／ **ワイド** ／ **シネマ**）を選択し、タッチする。

：選択した画面に切り替わります。

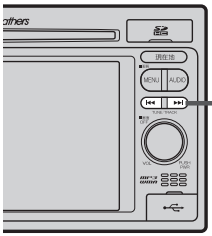
アドバイス **シネマ** を選択した場合映像を拡大して表示するため、映像の上下が画像が切れて見えなくなります。

ノーマル　：4：3の映像の画面
フ　ル　　：4：3の映像を左右に引き伸ばし、16：9にした画面
ワイド　　：“フル”の違和感を少なくした画面
シネマ　　：4：3の映像をそのまま拡大した画面

再生中にチャプターを戻す／進める

1 ⏮／⏭（スキップ）を押す。

：前のチャプターに戻る、または次のチャプターに進みます。



■ 前のチャプターに戻る場合

① ⏮ を２回押す。

※１回押した場合は再生中のチャプターの頭に戻ります。*

■ 次のチャプターに進む場合

① ⏭ を押す。

アドバイス
*印…チャプター再生開始から３秒以内に押した場合は、前のチャプターの頭に戻ります。
- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。
- ボタンを押し続けると早戻し／早送りします。☞ G-29

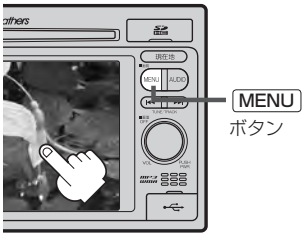
DVDプレーヤーを使う(3)

VXM-128VS

コマ戻し／コマ送りをする

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

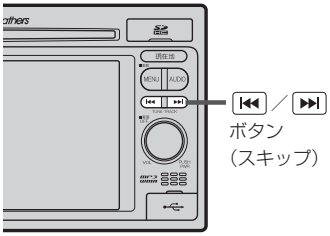
：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **▶II (再生／一時停止)をタッチする。**

：画面に“ II ”を表示し、映像を一時停止します。
（音声も止まります。）

3 **⏮／⏭(スキップ)を押す。**



■ **コマ戻しをする場合**

① **⏮ を押す。**

：押すごとに映像を1コマずつ戻します。

■ **コマ送りをする場合**

① **⏭ を押す。**

：押すごとに映像を1コマずつ送ります。

※通常再生をするには ▶II (再生／一時停止)をタッチします。

4 **画面の操作ボタンの表示を消すには、 ボタン消 をタッチする。**

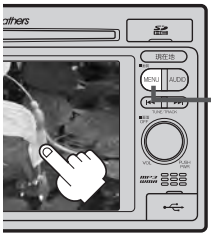
アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

スロー戻し／スロー送りをする

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

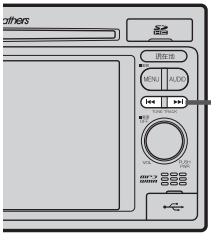
：操作ボタン１表示画面が表示されます。



2 **▶II（再生／一時停止）をタッチする。**

：画面に“ II ”を表示し、映像を一時停止します。
（音声も止まります。）

3 **⏮／⏭（スキップ）を押し続ける。**



■ **スロー戻しをする場合**

① **⏮ を押し続ける。**

：スロー戻しで戻ります。

■ **スロー送りをする場合**

① **⏭ を押し続ける。**

：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離したところで通常再生を始めます。

4 **画面の操作ボタンの表示を消すには、 ボタン消 をタッチする。**

アドバイス この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

DVDプレーヤーを使う(4)

VXM-128VS

DVDメニューを使う

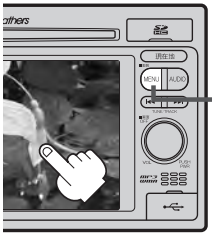
DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。

アドバイス

下記手順 4 のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、 ボタン消 をタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1 画面をタッチするか、 MENU を押す。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



2 メニュー をタッチする。

：DVDメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はプレイリストが表示されます。
(☞K-20)

操作ボタン１表示画面

3 次へ ➡ カーソル をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

操作ボタン２表示画面

4 ▲▼◀▶(カーソルキー)をタッチして項目を選び、 実行 をタッチする。

：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、手順 4 を繰り返してください。

カーソル表示画面

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

カーソル表示　　カーソル表示

5 画面の操作ボタンの表示を消すには、 ボタン消 をタッチする。

アドバイス

- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
  ※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」等と表示しているものもあります。
  また、K-10手順 4 で 実行 のことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書もあわせてお読みください。

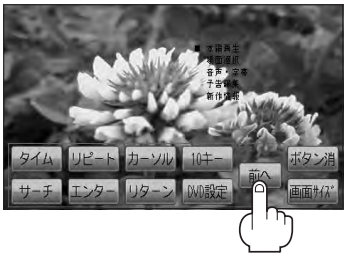
■ DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

① 操作ボタン1を表示させる。

□ 操作ボタン2またはカーソルが表示されているとき

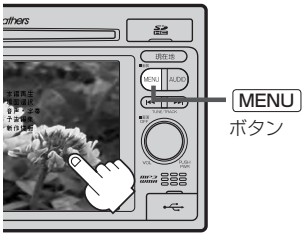
1. 前へ ／ 戻る をタッチする。

操作ボタン2表示画面



□ 操作ボタンの表示が消えているとき

1. 画面をタッチするか、 MENU を押す。

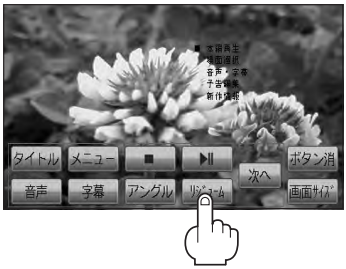


② リジューム をタッチする。

：DVDメニュー(またはプレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示を消すには、 ボタン消 をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



DVDプレーヤーを使う(5)

VXM-128VS

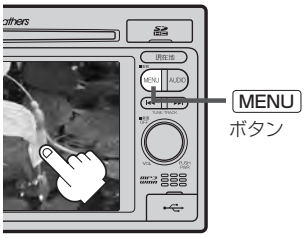
タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。
※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。

アドバイス
下記手順 4 のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、 ボタン消 をタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1 画面をタッチするか、 MENU を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 タイトル をタッチする。

：タイトルメニュー画面が表示されます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はタイトルリストが表示されます。
(☞K-20)

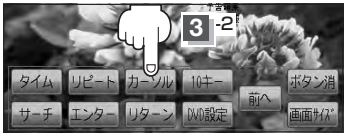
操作ボタン1表示画面

3 次へ ➡ カーソル をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面

操作ボタン2表示画面



4 ▲▼◀▶(カーソルキー)をタッチして項目を選び、 実行 をタッチする。

：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。
※さらに選択画面が続く場合は、手順 4 を繰り返してください。

カーソル表示画面

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

カーソル表示　　カーソル表示

5 画面の操作ボタンの表示を消すには、 ボタン消 をタッチする。

アドバイス

- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
  ※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」等と表示しているものもあります。
  また、K-12手順 4 で 実行 のことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書もあわせてお読みください。

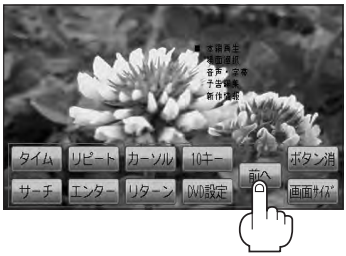
■ タイトルメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

① 操作ボタン１を表示させる。

□ 操作ボタン２またはカーソルが表示されているとき

1. 前へ ／ 戻る をタッチする。

操作ボタン２表示画面



□ 操作ボタンの表示が消えているとき

1. 画面をタッチするか、 MENU を押す。

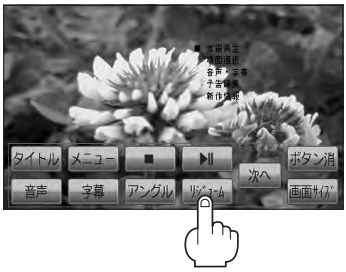
MENU ボタン

② リジューム をタッチする。

：タイトルメニュー(またはタイトルリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示を消すには、ボタン消 をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



DVDプレーヤーを使う(6)

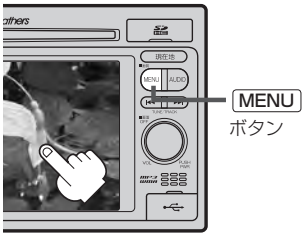
VXM-128VS

好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



2 **次へ ➡ サーチ をタッチする。**

：サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

操作ボタン２表示画面

3 **サーチ選択画面で 0 ～ 9 (10キー)をタッチして、再生したいチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力する。**

- **チャプター、タイトル、タイム(経過時間)は 切替 をタッチし切り替えて入力します。**

チャプターサーチ ⟶ タイトルサーチ
↑ ⟵ 表示なし ⟵ タイムサーチ ⟵ ┘

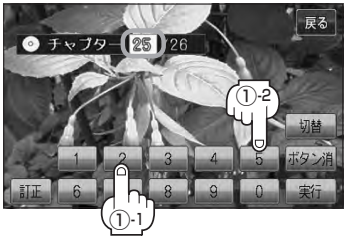
(例)サーチ選択画面

モード表示　0 ～ 9 ボタン(10キー)

例 チャプター番号 “25” を入力する場合

① **10キーを 2 、 5 とタッチする。**

：表示が “25” となります。



例 タイム(経過時間)入力で“15分目”を再生する場合

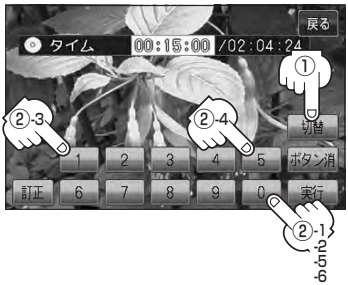
① **切替** を2回タッチする。

：タイム(経過時間)入力画面になります。

② 10キーを **0** 、 **0** 、 **1** 、 **5** 、 **0** 、 **0** とタッチする。

：表示が [__:__:__] → [00:15:00] となります。

(例)



4 **実行** をタッチする。

：入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム(経過時間)から再生を始めます。

(例)チャプター番号25を入力した場合

5 画面の操作ボタンの表示を消すには、 **ボタン消** をタッチする。

アドバイス

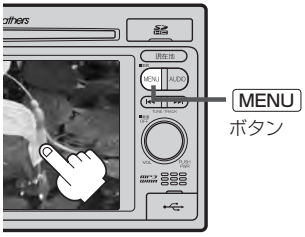
- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了します。その場合は、 **切替** をタッチし、もう一度手順 **3** (☞K-14)からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、 **切替** をタッチし、もう一度手順 **3** (☞K-14)からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力すると、この操作は解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものもあります。この場合は下記に従って言語を選ぶことができます。

1 画面をタッチするか、MENUを押す。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



2 音声 または 字幕 をタッチする。

：タッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

操作ボタン１表示画面

(例)音声言語リスト

(例)字幕言語リスト

3 画面の操作ボタンの表示を消すには、ボタン消 をタッチする。

アドバイス

- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニュー(☞K-10)や言語設定(☞K-24)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1 、 2)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニュー(☞K-10)または言語設定(☞K-24)で切り替えてください。

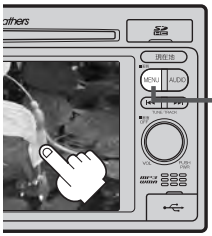
時間の表示を替える

画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

- T(現在のタイトル)／C(チャプター情報)
- タイトル時間……タイトルの経過時間を表示
- タイトル残り時間……タイトルの残時間を表示
- チャプター時間……チャプターの経過時間を表示
- チャプター残り時間……チャプターの残時間を表示
- DISPLAY OFF……何も表示しない

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



2 **次へ ➡ タイム をタッチする。**

：タッチするごとに時間表示が切り替わります。

操作ボタン１表示画面

操作ボタン２表示画面

■ **時間表示を消す場合**

① **タイム** をタッチして “DISPLAY OFF” を表示させる。

3 **画面の操作ボタンの表示を消すには、 ボタン消 をタッチする。**

リピート(繰り返し)再生する

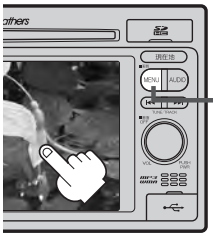
再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- チャプターリピート ……再生中のチャプターを繰り返す
- タイトルリピート ……再生中のタイトルを繰り返す
- リピートOFF ……リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



2 **次へ ➡ リピート をタッチする。**

：タッチするごとにモードが切り替わります。

操作ボタン１表示画面

操作ボタン２表示画面

■ **通常の再生に戻す場合**

① **リピート をタッチして “リピートOFF” を表示させる。**

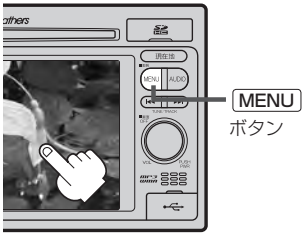
3 **画面の操作ボタンの表示を消すには、 ボタン消 をタッチする。**

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。
この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

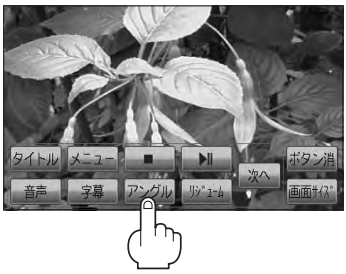
：操作ボタン１表示画面が表示されます。



2 **アングル をタッチする。**

：タッチするごとにアングルが切り替わります。

操作ボタン１表示画面



3 **画面の操作ボタンの表示を消すには、 ボタン消 をタッチする。**

アドバイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル”を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

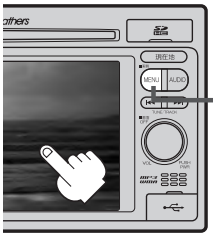
DVDプレーヤーを使う(9)

VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる

DVD-R/RW、DVD-R DL(DVDビデオレコーディングモード)に登録したタイトル名を各リストより選択し再生させることができます。

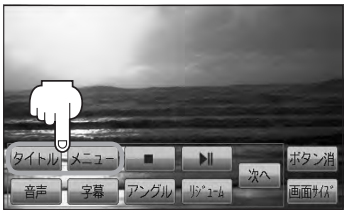
1 画面をタッチするか、MENUを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 タイトルリストまたはプレイリストを表示させる。

操作ボタン1表示画面



■ タイトルリストより選択する場合

① タイトルをタッチする。

：タイトルリストが表示されます。

■ プレイリストより選択する場合

① メニューをタッチする。

：プレイリストが表示されます。

アドバイス

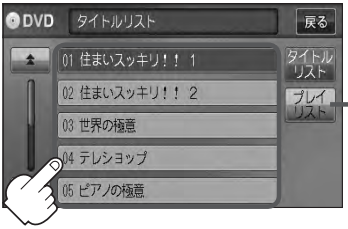
タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順に編集したものをあらわします。

※タイトル名はDVDレコーダーで編集することができます。タイトルリスト／プレイリストの詳細につきましてはDVDレコーダーの取扱説明書を参照してください。

3 リストより再生させたいタイトル名をタッチする。

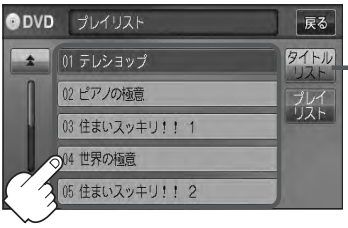
：選択した項目が選択されます。

（例）タイトルリスト表示



タイトルリスト画面のとき **プレイリスト** をタッチするとプレイリスト画面を表示します。

（例）プレイリスト表示



プレイリスト画面のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリスト画面を表示します。

アドバイス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、手順 **2** （☞ K-20）で **メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合（リジューム再生する場合）は **戻る** をタッチしてください。
- VRモードディスク再生中に操作ボタン1の **音声** をタッチすると、音声chを切り替えることができます。

DVDの初期設定について(1)

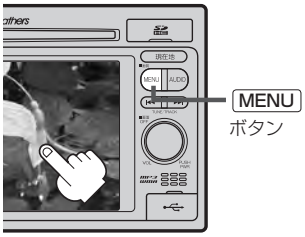
VXM-128VS

初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



2 **次へ ➡ DVD設定 をタッチする。**

：DVD設定画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

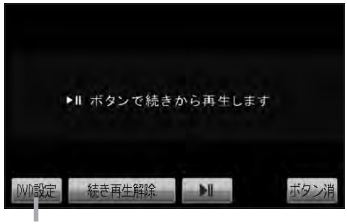
操作ボタン２表示画面

アドバイス

■ (停止)➡ DVD設定 をタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン１表示画面

停止画面



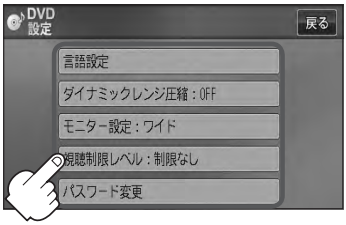
DVD設定 ボタン

※ DVD設定 を選択した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。

3 画面の設定したい項目(言語設定 ／ ダイナミックレンジ圧縮 ／ モニター設定 ／ 視聴制限レベル ／ パスワード変更)をタッチする。

：選択した項目の設定画面が表示されます。

DVD設定画面



選んだ項目	設定できる内容	操作手順
言語設定	● 音声言語 ：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● メニュー言語 ：DVDメニューの表示言語の切り替え ● 字幕言語 ：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え	K-24
ダイナミックレンジ圧縮	●DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ)	K-27
モニター設定	● 画像アスペクト ：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え	K-27
視聴制限レベル	● レベル ：視聴制限レベルの設定	K-28
パスワード変更	● パスワード ：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更	K-29

アドバイス

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。この場合はDVDメニュー(K-10)で切り替えてください。
- 各設定画面のとき1つ前の選択画面に戻る場合や、設定を終わったり途中で止める場合は 戻る をタッチしてください。
  ※停止画面のとき再び再生させる場合は ▶II (再生)をタッチしてください。(ディスクの先頭から再生します。)

停止画面

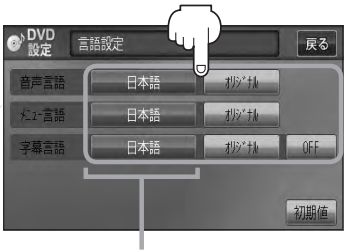
DVDの初期設定について(2)

VXM-128VS

4 ■ 手順 3 (☞ K-23)で“言語設定”を選んだ場合

① 音声言語／メニュー言語／字幕言語の変更したい項目(日本語／オリジナル／OFF)をタッチする。

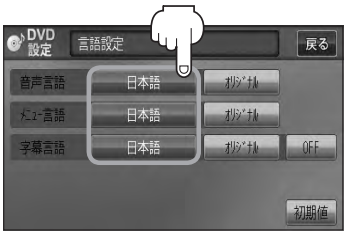
“音声言語”……DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。
“メニュー言語”…DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。
“字幕言語”……DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。



設定されている言語を表示
(ここをタッチすると言語コード入力画面(下記)を表示)
ただし、言語が オリジナル または OFF に設定されている場合は 言語を選択 と表示が替わります。

□ 言語を変更するとき

1. 日本語／言語を選択をタッチする。
   :選択した言語の言語コード入力画面が表示されます。



2. 言語コード表(☞ K-26)を参照し、言語コードの数字を 0 ～ 9 (10キー)をタッチして入力する。

言語コード入力画面

0 ～ 9 ボタン(10キー)

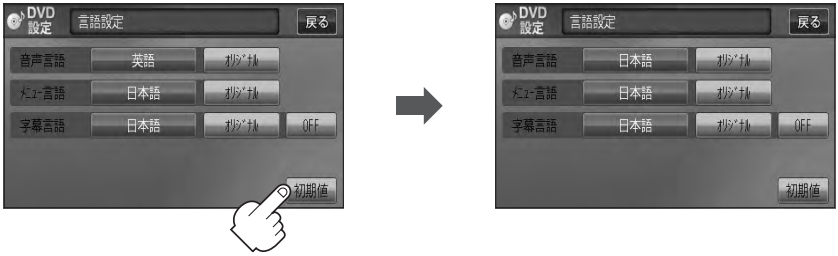
3. 入力が終わったら 決定 をタッチする。

入力した数字を訂正するときは、クリア をタッチして数字を再入力してください。

□ 言語設定を初期値に戻すとき

1. 言語設定画面で 初期値 をタッチする。

：変更した言語設定が初期値に戻ります。



アドバイス

- DVD設定をすると続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力すると“入力された言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力しなおしてください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- オリジナル を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語”のとき、優先する字幕言語を OFF にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、 戻る をタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

DVDの初期設定について(3)

言語コード表

コード		言　語	コード		言　語	コード		言　語
1027	AA	アファル語	1239	IE	国際語	1482	RN	キルンディ語
1028	AB	アブバジア語	1245	IK	Inupiak 語	1483	RO	ルーマニア語
1032	AF	アフリカーンス語	1248	IN	インドネシア語	1489	RU	ロシア語
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	1491	RW	キニヤルワンダ語
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	1495	SA	サンスクリット語
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	1498	SD	シンド語
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	1501	SG	サンゴ語
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	1502	SH	セルビアクロアチア語
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	1503	SI	シンハラ語
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	1505	SK	スロバキア語
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	1506	SL	スロベニア語
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	1507	SM	サモア語
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	1508	SN	ショナ語
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カンナダ語	1509	SO	ソマリ語
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	1511	SQ	アルバニア語
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	1512	SR	セルビア語
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	1513	SS	シスワティ語
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	1514	ST	セストゥ語
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	1515	SU	スンダ語
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	1516	SV	スウェーデン語
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	1517	SW	スワヒリ語
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	1521	TA	タミール語
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	1525	TE	テルグ語
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	1527	TG	タジク語
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	1528	TH	タイ語
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	1529	TI	ティグリニャ語
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	1531	TK	トゥルクメン語
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	1532	TL	タガログ語
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	1534	TN	セツワナ語
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	1535	TO	トンガ語
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	1538	TR	トルコ語
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	1539	TS	ツォンガ語
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	1540	TT	タタール語
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	1543	TW	トウィ語
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	1557	UK	ウクライナ語
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	1564	UR	ウルドゥー語
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	1572	UZ	ウズベク語
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	1581	VI	ベトナム語
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	（アファン）オロモ語	1587	VO	ボラピュク語
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	1613	WO	ウォロフ語
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	1632	XH	コーサ語
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	1665	YO	ヨルバ語
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	パシュトー語	1684	ZH	中国語
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	1697	ZU	ズール語
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語			
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ＝ロマン語			

■ 手順 3 (☞ K-23)で “ダイナミックレンジ圧縮” を選んだ場合

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

① ダイナミックレンジの圧縮をする／しない（ ON ／ OFF ）の設定をする。

：ONをタッチすると圧縮し、OFFをタッチすると圧縮しません。
ONは小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに、OFFは標準音域で聞くときに選んでください。

② 戻る をタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。

■ 手順 3 (☞ K-23)で “モニター設定” を選んだ場合

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

① 設定したいアスペクト比(ワイド ／ レターボックス ／ パン&スキャン)をタッチする。

※16:9ワイドスクリーン／4:3レターボックス／4:3パン&スキャンとなります。

② 戻る をタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。

アドバイス
ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。

⚠注意 お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

DVDの初期設定について(4)

■ 手順 3 (☞ K-23)で“視聴制限レベル”を選んだ場合

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

① 下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。

視聴制限レベル

- “制限なし”視聴制限を無効
- “8”ーすべてのDVDビデオの再生可
- “7”
- “6”
- “5”
- “4”
- “3”
- “2”

（“7”～“2”：子供向／一般向のみ再生可）

- “1”ー子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)

下にいくほど制限が厳しくなります。

※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“ 制限なし ”を選択してください。

□ レベルを変更したとき

レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

1. 現在のパスワードを 0 ～ 9 (10キー)をタッチして入力する。

0 ～ 9 ボタン(10キー)

2. 入力が終わったら 決定 をタッチする。

アドバイス

- 間違ったパスワードを入力すると“入力されたパスワードが間違っています”と表示されます。再度正しいパスワードを入力しなおしてください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
  ※工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。
  (現在のパスワードは変更することができます。(☞ K-29参照))
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- 工場出荷時の(現在の)視聴制限レベルは“制限なし”となっています。

■ 手順 3 (☞ K-23)で “パスワード変更” を選んだ場合

① 現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を 0 ～ 9 (10キー)をタッチして入力する。

パスワード変更画面

0 ～ 9 ボタン(10キー)

② 決定 をタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。

アドバイス

- 入力した数字を訂正するときは クリア をタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
  変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前画面へ戻る場合は、 戻る をタッチしてください。
- **パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに “0000” を入力してください。**
- 工場出荷時のパスワードは “0000” に設定されています。

L
SD(SDカード)

各部の名称とはたらき……L-2
タッチパネル部について……L-2
表示部(再生画面)について……L-3
SDカードを使う……L-4
再生を一時停止する……L-4
リストより選曲する……L-4
好きなフォルダを選ぶ……L-6

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

① **▶II ボタン(再生／一時停止)**
再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
☞ L-4

② **リピート ボタン**
現在再生中の曲を繰り返し再生します。
☞ G-30

③ **ランダム ボタン**
曲を順序不同で再生します。
☞ G-30

④ **スキャン ボタン**
曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
☞ G-30

⑤ **リスト ボタン**
リストを表示させて選曲することができます。
☞ L-4

⑥ **フォルダ＋ ボタン**
次のフォルダに進みます。
☞ L-6

⑦ **フォルダー ボタン**
前のフォルダに戻ります。
☞ L-6

⑧ **切替 ボタン**
時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で **切替** をタッチすると、選択中のモード画面に戻ります。
☞ G-38

表示部(再生画面)について

①再生時間表示

②全曲再生／フォルダ再生の状態を表示

③再生状態表示

▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し
⏸：一時停止

④アーティスト名／トラック名*1／アルバム名／フォルダ名表示

⑤再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。
MP3 ／ WMA ／ AAC

⑥リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

※表示内容につきましては☞ G-30をご覧ください。

アドバイス

＊1印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。

- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名／アーティスト名が記録されていない場合は、"No Title"と表示されます。
- TOP画面のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
  ※走行中はスクロールしません。
- パネル部に配置されているボタンにつきましては☞ G-20を参照してください。

SDカードを使う(1)

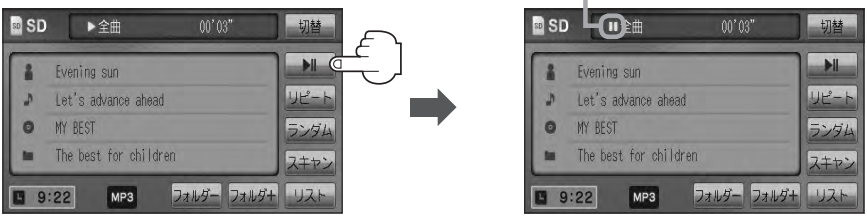
再生を一時停止する

1 ▶II(再生／一時停止)をタッチする。

：画面にIIを表示し、音声が一時的に止まります。

一時停止状態

(例)一時停止状態画面



■ 再び再生を始める場合

① 一時停止中に▶II(再生／一時停止)をタッチする。

：画面に▶を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

リストより選曲する

全曲リストまたはフォルダリストより再生させたい曲(トラック)を選択し、再生させることができます。

1 リスト をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

※すでにリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

(例)SDモードTOP画面

---

2 リスト内から再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。

■ 全曲リストから選ぶ場合

① 全曲リスト をタッチする。

：SDカード内の全ての曲(トラック)が表示され、最初の曲が再生されます。

※すでに全曲リスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。

② 再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)全曲リスト

■ フォルダリストから選ぶ場合

① フォルダリスト をタッチする。

：フォルダリストが表示されます。

※すでにフォルダリスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。

(例)全曲リスト画面

② フォルダリストから再生させたいフォルダを選びタッチする。

：フォルダ内の曲リストが表示され、最初の曲が再生されます。

(例)フォルダリスト画面

③ 曲リストから再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)曲リスト画面

3 TOP画面に戻るには、 戻る をタッチする。

アドバイス

⏮／⏭を押して曲(トラック)を選択することもできます。G-28

SDカードを使う(2)

好きなフォルダを選ぶ

SDカードの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダー ／ フォルダ＋ をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① フォルダー をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

① フォルダ＋ をタッチする。

(例)SDモードTOP画面

M
VTR

VTR

各部の名称とはたらき……M-2
タッチパネル部について……M-2
VTR機能を使う……M-3
接続する……M-3
画面のサイズを変更する……M-5

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

※操作ボタンは画面をタッチしたときに表示されます。

① **画面サイズ ボタン**
画面サイズ(ノーマル／フル／ワイド／シネマ)を選択することができます。
☞ M-5

② **ボタン消 ボタン**
表示しているボタンを消し、映像を全画面表示します。
☞ M-4

VTR機能を使う(1)

接続する

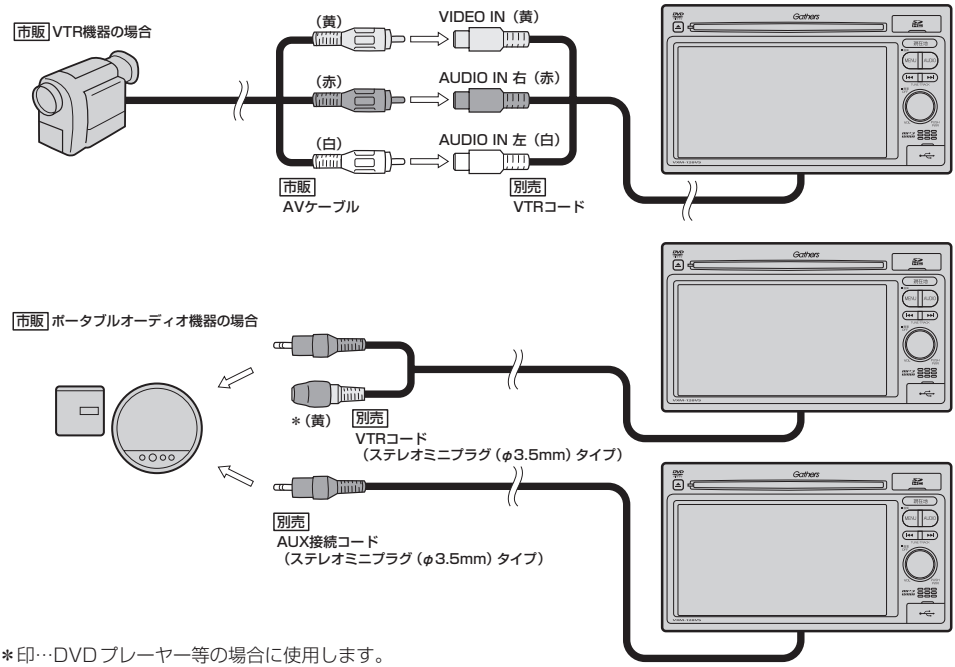
※接続の前に、接続する機器の電源を切り、車のエンジンスイッチを0(ロック)にして、本機の電源を切ってください。

本機に別売のVTRコードまたはAUX接続コードを使用して市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。

※出力するには、別売の下記コードをお買い求めください。

⚠ VTR機器などの映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

1 機器を接続する。



*印…DVDプレーヤー等の場合に使用します。

VTR機能を使う(2)

2 本機と使用する機器の電源を入れる。

※車のエンジンスイッチⅡ(ON)状態

3 VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

⚠注意 本機の電源をOFF(☞G-26)、または、エンジンスイッチ0(ロック)にする場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。

アドバイス

- 別売のAUX接続コードを接続した場合の操作方法は、VTRモードから行なってください。
- VTR端子から入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- VTRの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
  ☞「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」G-40
- **ボタン消** をタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 市販の音声ケーブルは抵抗なし品を使用してください。抵抗入りケーブルは音声が聞こえません。ご購入前にご確認ください。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子(RCA×1系統)	
映像入力レベル	1Vpp(入力インピーダンス75Ω)
音声最大入力レベル	2.0V(入力インピーダンス47kΩ)

- 接続するVTR機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

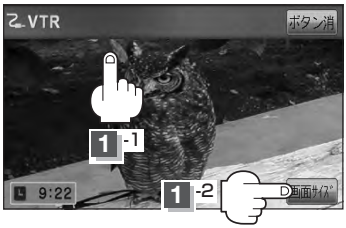
画面のサイズを変更する

別売のVTRコードを接続してVTRモードにしている場合、画面のサイズ(ノーマル／フル／ワイド／シネマ)を選択することができます。

「別売品(システムアップ)について」P-57

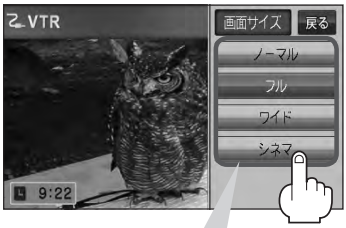
1 画面をタッチし、**画面サイズ**をタッチする。

：画面サイズ選択画面が表示されます。



2 変更したい画面サイズ(**ノーマル**／**フル**／**ワイド**／**シネマ**)を選択し、タッチする。

：選択した画面に切り替わります。



アドバイス

シネマを選択した場合映像を拡大して表示するため、映像の上下の画像が切れて見えなくなることがあります。

ノーマル　：4：3の映像の画面
フ　ル　　：4：3の映像を左右に引き伸ばし、16：9にした画面
ワイド　　：“フル”の違和感を少なくした画面
シネマ　　：4：3の映像をそのまま拡大した画面

N

USB／iPod

各部の名称とはたらき……N-2
タッチパネル部について……N-2
表示部（再生画面）について……N-3
接続する……N-4
USB機器を本機に接続する……N-4
iPodを本機に接続する……N-4
iPodを本機に接続すると……N-5
USB機器またはiPodの接続をやめる……N-5
USB機器を使う……N-6
再生を一時停止する……N-6
リストより選曲する……N-6
好きなフォルダを選ぶ……N-8
iPodを使う……N-9
再生を一時停止する……N-9
リストより好きなトラックを選び再生させる……N-10
選曲モードより選択し再生させる……N-11

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

(例)USBモード TOP画面

(例)iPodモード TOP画面

① **▶II ボタン(再生／一時停止)**
再生中にタッチすると音声が一時的に止まり、もう一度タッチすると再び再生が始まります。
☞ N-6

② **リピート ボタン**
現在再生中の曲を繰り返し再生します。
☞ G-30

③ **ランダム ボタン**
曲を順序不同で再生します。
☞ G-30

④ **スキャン ボタン**
曲の頭(イントロ)を約10秒間再生します。
☞ G-30

⑤ **リスト ボタン**
リストを表示させて選曲することができます。
☞ N-6

⑥ **フォルダー ボタン**
前のフォルダに戻ります。

⑦ **フォルダ＋ ボタン**
次のフォルダに進みます。

⑧ **シャッフル ボタン**
シャッフル再生をすることができます。
☞ G-30

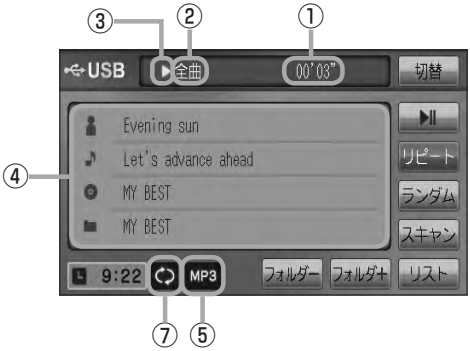
⑨ **選曲 ボタン**
iPodのミュージックリストから再生したい曲を絞り込んで再生することができます。
☞ N-11

⑩ **切替 ボタン**
時計表示に切り替わります。
※時計表示画面で **切替** をタッチすると、選択中のモード画面に戻ります。
☞ G-38

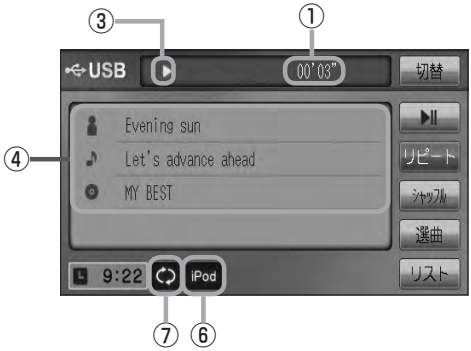
アドバイス
パネル部に配置されているボタンにつきましては☞ G-20を参照してください。

表示部(再生画面)について

(例)USBモード TOP画面
(リピート再生時)



(例)iPodモード TOP画面
(リピート再生時)



①再生時間表示

②全曲再生／フォルダ再生の状態を表示

③再生状態表示

▶：通常再生
▶▶：早送り
◀◀：早戻し
⏸：一時停止

④タイトル名表示

アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名*1
アーティスト名／トラック名／アルバム名*2

⑤再生ファイル表示

再生中のファイルを表示します。

MP3 ／ WMA ／ AAC

⑥iPodを接続している場合に表示

⑦再生モード表示

リピート／ランダム／スキャン*1
※表示内容につきましては G-30をご覧ください。
リピート／トラックシャッフル／アルバムシャッフル*2
※表示内容につきましては G-30をご覧ください。

アドバイス

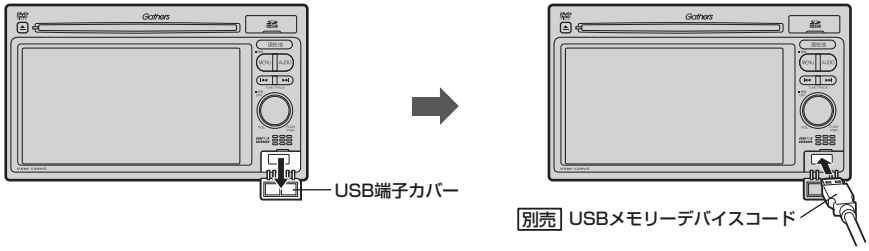
- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
  (本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- アーティスト名／アルバム名が記録されていない場合は、"No Title" と表示されます。
- トラック名がない場合はファイル名を表示します。*1
- TOP画面のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。
  ※タイトル順が一巡します。またスクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
  ※走行中はスクロールしません。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では－(ハイフン表示)となります。

＊1印…USBモードの場合
＊2印…iPodモードの場合

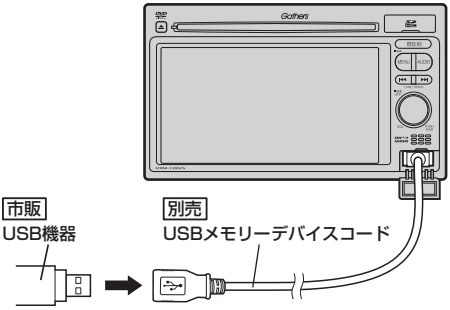
接続する

USB機器を本機に接続する

1 USB端子カバーを開け、別売のUSBメモリーデバイスコードを接続する。



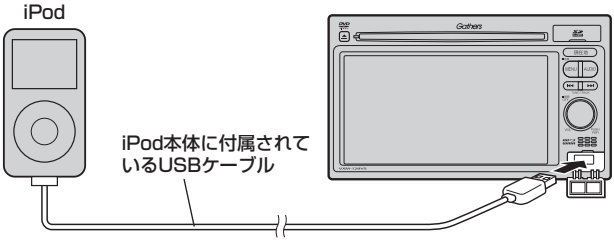
2 別売のUSBメモリーデバイスコードに
USB機器を接続する。



iPodを本機に接続する

iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用して再生させることができます。

1 USB端子カバーを開け、iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続する。



アドバイス

- 本機でiPodを再生させる場合も USB をタッチしてください。G-23
- 本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体としてください。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチ0(ロック)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- 接続した状態での車のエンジンスイッチを0(ロック)にすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。

iPodを本機に接続すると

- iPodに収録されたデータが本機に表示され、タッチパネルを使用して操作することができます。
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は、常にiPodの充電が可能です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しないときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。

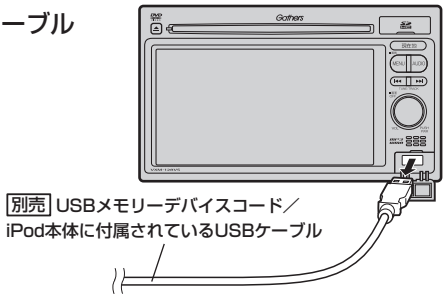
USB機器またはiPodの接続をやめる

1 **◯(VOL／PUSH PWR)を押す。**

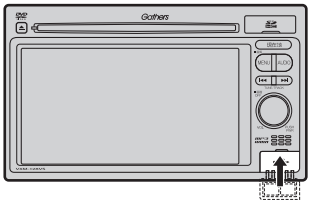
：画面に“OFF”と表示されオーディオモードを終了します。

※もう一度押すとオーディオモードをONします。

2 **USBメモリーデバイスコード／USBケーブルを外す。**



3 **USB端子カバーを“カチッ“と音がするまではめる。**



アドバイス

- USB機器を外し、再度接続して再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。
  ※USB機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生することがあります。
- **音楽再生中にUSB機器を外すと、データがこわれたりUSB機器が破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。**

USB機器を使う(1)

再生を一時停止する

1 **▶II (再生／一時停止)をタッチする。**

：画面にIIを表示し、音声が一時的に止まります。

■ 再び再生を始める場合

① **一時停止中に ▶II (再生／一時停止)をタッチする。**

：画面に▶を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

リストより選曲する

全曲リストまたはフォルダリストより再生させたい曲(トラック)を選択し、再生させることができます。

1 **リスト をタッチする。**

：リスト画面が表示されます。

(例)USBモードTOP画面

---

2 **リスト内から再生させたい曲(トラック)を選び、タッチする。**

■ 全曲リストから選ぶ場合

① **全曲リスト をタッチする。**

：USB機器内の全ての曲(トラック)が表示され、最初の曲が再生されます。

※すでに全曲リスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。

② **再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。**

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)全曲リスト画面

■ フォルダリストから選ぶ場合

① **フォルダリスト をタッチする。**

：フォルダリストが表示されます。

※すでにフォルダリスト表示になっている場合は、手順①を省略することができます。

(例)全曲リスト画面

② **フォルダリストから再生させたいフォルダを選びタッチする。**

：フォルダ内の曲リストが表示され、最初の曲が再生されます。

(例)フォルダリスト画面

③ **曲リストから再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。**

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)曲リスト画面

3 TOP画面に戻るには、 戻る をタッチする。

アドバイス

⏮／⏭ を押して曲(トラック)を選択することもできます。G-28

USB機器を使う(2)

好きなフォルダを選ぶ

USB機器の中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダー ／ フォルダ＋ をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

① フォルダー をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

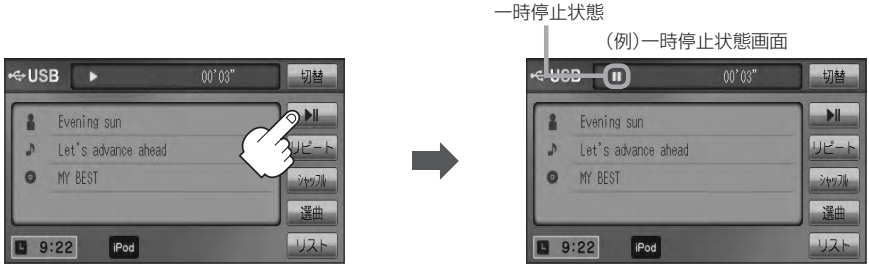
① フォルダ＋ をタッチする。

iPodを使う(1)

再生を一時停止する

1 **▶II(再生／一時停止)をタッチする。**

：画面にIIを表示し、音声が一時的に止まります。



■ 再び再生を始める場合

① **一時停止中に▶II(再生／一時停止)をタッチする。**

：画面に▶を表示し、再生を止めた続きから再生を始めます。

iPodを使う(2)

リストより好きなトラックを選び再生させる

選曲モード(☞N-11)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ポッドキャスト／ジャンル／プレイリスト／作曲者)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 **リスト** をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

(例)iPodモード TOP画面

2 再生させたい曲(トラック)を選びタッチする。

：曲(トラック)の再生が始まります。

(例)iPodモード リスト画面

3 TOP画面に戻るには、 **戻る** をタッチする。

アドバイス

⏮／⏭を押して曲(トラック)を選択することもできます。☞G-28

選曲モードより選択し再生させる

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

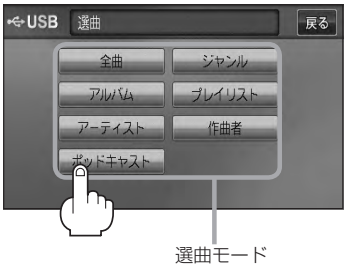
1 **選曲** をタッチする。

：選曲画面が表示されます。

（例）iPodモード TOP画面

2 選曲画面より選曲する方法（**全曲** ／ **アルバム** ／ **アーティスト** ／ **ポッドキャスト** ／ **ジャンル** ／ **プレイリスト** ／ **作曲者** ）を選択する。

選曲画面



選曲モード

アドバイス

- 選曲モードは、iPod本体に収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲画面を選択する前に **戻る** をタッチするとTOP画面に戻ります。

■ **全曲** をタッチした場合

：全曲のトラックリスト画面の表示とともに、曲が再生されます。

① 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲（トラック）を再生します。

（例）全曲画面

iPodを使う(3)

■ **アルバム** をタッチした場合 ：アルバムリスト画面が表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリストが表示とともに曲が再生されます。

(例)アルバムリスト画面

すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲(トラック)を再生します。

(例)トラックリスト画面

■ **アーティスト** をタッチした場合 ：アーティストリスト画面が表示されます。

① 再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

(例)アーティストリスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。手順②へ

② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリストが表示とともに曲が再生されます。

(例)アルバムリスト画面

すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。手順①で再生させたいアーティストをタッチして手順②で **すべて** をタッチした場合は選択したアーティストの全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

③ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲(トラック)を再生します。

(例)トラックリスト画面

■ **ポッドキャスト** をタッチした場合 ：ポッドキャスト画面が表示されます。

① 再生させたいポッドキャストをタッチする。

：選択したポッドキャストに収録されているポッドキャストリスト表示とともにポッドキャストが再生されます。

(例)ポッドキャスト画面

ポッドキャスト

② 再生させたいポッドキャストをタッチする。

：選択したポッドキャストを再生します。

(例)ポッドキャストリスト画面

■ **ジャンル** をタッチした場合 ：ジャンルリスト画面が表示されます。

① 再生させたいジャンル(iPodに収録されているジャンル名)をタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

(例)ジャンルリスト画面

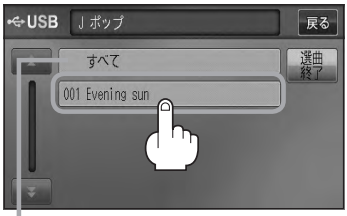
すべて をタッチするとiPod内の全アーティストが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内の全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

☞ N-14 手順④へ

② 再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

(例)アーティストリスト画面



すべて をタッチすると手順①で選択したジャンルに該当する全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると該当する全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

☞ N-14 手順④へ

iPodを使う(4)

③ 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

(例)アルバムリスト画面

すべて をタッチすると手順②(☞N-13)で選択したアーティストのトラックリスト表示とともに曲が再生されます。☞手順④へ

④ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲(トラック)を再生します。

(例)トラックリスト画面

アドバイス ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)はiPod本体に収録されている内容となります。(iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

■ プレイリスト をタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

① 再生させたいプレイリストをタッチする。

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

(例)プレイリスト画面

プレイリスト

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲(トラック)を再生します。

(例)トラックリスト画面

トラック

■ **作曲者** をタッチした場合

：作曲者リスト画面が表示されます。

① 再生させたい作曲者をタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。

（例）作曲者リスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチするとiPod内の全曲トラックリスト表示とともに曲が再生されます。☞手順③へ

② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

（例）アルバムリスト画面

すべて をタッチすると手順①で選択した作曲者に該当する全曲のトラックリストが表示されます。☞手順③へ

③ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲（トラック）を再生します。

（例）トラックリスト画面

3 **設定を終えるには、 戻る または 選曲終了 をタッチする。**

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**選曲終了** をタッチするとTOP画面に戻ります。